

マニュアルの使いかた

安心してお使いいただくために

- 本製品をお取り扱いいただくための注意事項
ご使用前に必ずお読みください。

取扱説明書（本書）

- 本製品の準備
- 各部の名前
- 電源の入れかた
- Windowsのセットアップ
- 電源の切りかた
- 初期状態に戻す（リカバリー）
- Q&A集（電源が入らないとき）
- 廃棄／譲渡
など

オンラインマニュアル

Windowsが起動しているときに本製品の画面上で見るマニュアルです。

- 前のパソコンから買い替えたとき
- 本製品の基本操作
- ネットワーク機能
- 周辺機器の接続
- バッテリー駆動で使う方法
- システム環境の変更
- 本製品の動作がおかしいとき／Q&A集
など

リリース情報

- 本製品を使用するうえでの注意事項など
必ずお読みください。

参照 ▶ 「はじめに - 7 リリース情報について」

もくじ

マニュアルの使いかた	1
もくじ	2
はじめに	5

1 章 本製品の準備 11

1 使う前に確認する	12
2 各部の名称 — 外観図 —	14
1 前面図	14
2 背面図	15
3 画面にタッチして操作する	16
4 Windows を使えるようにする	19
1 Windows セットアップ	19
5 Windows 8.1 について	28
1 画面の切り替えについて	29
2 チャームの操作について	30
3 アプリケーション一覧の表示について	31
4 Windows 8.1 でわからない操作があったとき	32
6 電源を切る／入れる	33
1 電源を切る	33
2 電源を入れる	36
7 画面で見るマニュアル	37

2章 本製品を再セットアップするには 39

- 1 本製品の調子がおかしいときは 40**
 - 1 「詳細オプション」で調べる 41
- 2 本製品をリフレッシュする 42**
 - 1 リフレッシュ前に行うこと 44
 - 2 本製品のリフレッシュを行う 45
 - 3 リフレッシュ後に行うこと 46
- 3 本製品を初期状態に戻す -リカバリー- 47**
 - 1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ..... 48
 - 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと 49
 - 3 いくつかある初期状態に戻す方法 51
 - 4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す..... 51
 - 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す 53
 - 6 本製品を初期状態に戻したあとは 55

3章 困ったときは 57

- 1 Q&A集 58**
 - 1 電源を入れるとき／切るとき 60
 - 2 画面／表示 62
 - 3 システム／内蔵フラッシュメモリ 64
 - 4 タッチパネル 66
 - 5 メッセージ 67
 - 6 その他 68
- 2 捨てるとき／人に譲るとき 70**
- 3 お問い合わせ先 -OS／アプリケーション- 74**
 - 1 OSのお問い合わせ先 74
 - 2 アプリケーションのお問い合わせ先 75

1	ご使用にあたってのお願い	78
2	技術基準適合について	80
3	無線 LAN/Bluetoothについて	81
4	外形寸法図	84
	リフレッシュ/リカバリーチェックシート	88

2 用語について

本書では、次のように定義します。

システム

特に説明がない場合は、使用しているオペレーティングシステム（OS）を示します。

アプリケーションまたはアプリケーションソフト

アプリケーションソフトウェアを示します。

WindowsまたはWindows 8.1

Windows 8.1またはWindows 8.1 Proを示します。

MS-IME

Microsoft IMEを示します。

Office搭載モデル

Microsoft Office Personal 2013またはMicrosoft Office Home and Business 2013をプレインストールしているモデルを示します。

Bluetooth機能搭載モデル

Bluetooth機能を搭載しているモデルを示します。

ご購入のモデルのシリーズ名、モデル名、仕様については、『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照してください。

3 記載について

- 記載内容には、一部のモデルにのみ該当する項目があります。その場合は、「用語について」のモデル分けに準じて、「***モデルの場合」や「***シリーズのみ」などのように注記します。
- インターネット接続については、ブロードバンド接続を前提に説明しています。
- アプリケーションについては、本製品にプレインストールまたは本体の内蔵フラッシュメモリや付属のCD/DVDからインストールしたバージョンを使用することを前提に説明しています。
- 本書では、コントロールパネルの操作方法について、表示方法を「カテゴリ」に設定していることを前提に説明しています。
画面右上の「表示方法」が「大きいアイコン」または「小さいアイコン」になっている場合は、「カテゴリ」に切り替えてから操作説明を確認してください。
- 本書に記載している画面やイラストは一部省略したり、実際の表示とは異なる場合があります。
- 本書は、語尾をのばすカタカナ語の表記において、語尾に長音（ー）を適用しています。
画面の表示と異なる場合がありますが、読み替えてご使用ください。

4 Trademarks

- Microsoft、Windows 及び Windows ロゴ、Skype 及び Skype ロゴは、マイクロソフト企業グループの商標です。
その他記載されている会社名および製品名は各社の商標または登録商標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Intel、インテルは、アメリカ合衆国およびその他の国における Intel Corporation またはその子会社の商標、または登録商標です。
- microSD ロゴは商標です。
- HDMI、HDMI High-Definition Multimedia Interface および HDMI ロゴは、HDMI Licensing LLC の登録商標または商標です。
- TRENDMICRO、ウイルスバスターおよびウイルスバスタークラウドは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。
- Bluetooth は、その商標権者が所有しており、東芝はライセンスに基づき使用しています。

本書に掲載の商品の名称やロゴは、それぞれ各社が商標および登録商標として使用している場合があります。

5 プロセッサ (CPU) に関するご注意

本製品に使われているプロセッサ (CPU) の処理能力は次のような条件によって違いが現れます。

- 周辺機器を接続して本製品を使用する場合
- ACアダプターを接続せずバッテリー駆動にて本製品を使用する場合
- マルチメディアゲームや特殊効果を含む映像を本製品にてお楽しみの場合
- 本製品を通常の電話回線、もしくは低速度のネットワークに接続して使用する場合
- 複雑な造形に使用するソフト (たとえば、運用に高性能コンピューターが必要に設計されているデザイン用アプリケーションソフト) を本製品上で使用する場合
- 気圧が低い高所にて本製品を使用する場合
目安として、標高 1,000メートル (3,280 フィート) 以上をお考えください。
- 目安として、気温 5~30℃ (高所の場合 25℃) の範囲を超えるような外気温の状態で本製品を使用する場合

本製品のハードウェア構成に変更が生じる場合、CPUの処理能力が実際には仕様と異なる場合があります。

また、ある状況下においては、本製品は自動的にシャットダウンする場合があります。

これは、当社が推奨する設定、使用環境の範囲を超えた状態で本製品が使用された場合、お客様のデータの喪失、破損、本製品自体に対する損害の危険を減らすための通常の保護機能です。なお、このようにデータの喪失、破損の危険がありますので、必ず定期的にデータを外部記録機器にて保存してください。また、プロセッサが最適の処理能力を発揮するよう、当社が推奨する状態にて本製品をご使用ください。

本製品には64ビットプロセッサおよび32ビット版OSが搭載されております。64ビット版のデバイスドライバーやアプリケーションは動作しません。

6 著作権について

音楽、映像、コンピューター・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作者および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製 (データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをする場合には、著作権法を遵守のうえ、適切な使用を心がけてください。

7 リリース情報について

「リリース情報」には、本製品を使用するうえでの注意事項などが記述されています。必ずお読みください。次の操作を行うと表示されます。

- ① スタート画面で、画面の中央から上に向かってスライドする
- ② [はじめに] の [ リリース情報] をタップする

8 お願い

- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーション以外をインストールした場合の動作保証はできません。
- Windows標準のシステムツール以外の方法で、パーティションを変更・削除・追加しないでください。ソフトウェアの領域を壊すおそれがあります。
- 本体の内蔵フラッシュメモリにインストールされている、または付属のCD/DVDからインストールしたシステム（OS）、アプリケーションは、本製品でのみ利用できます。
- 購入時に定められた条件以外で、製品およびソフトウェアの複製もしくはコピーをすることは禁じられています。取り扱いには注意してください。
- 本製品の画像データは、本製品上で壁紙に使用する以外の用途を禁じます。
- お使いの環境によっては、スムーズに再生できない動画があります。
- パスワードを設定した場合は、忘れたときのために必ずパスワードを控えておいてください。
- 本製品はセキュリティ対策のためのパスワードの設定や、無線LANの暗号化設定などの機能を備えていますが、完全なセキュリティ保護を保証するものではありません。セキュリティの問題の発生や、生じた損害に関し、当社はいっさいの責任を負いません。
- 「ウイルスバスター」を使用している場合、ウイルス定義ファイルなどは、新種のウイルスやワーム、スパイウェア、クラッキングなどからコンピューターを保護するためにも、常に最新の状態で使用する必要があります。本製品に用意されている「ウイルスバスター」は、インターネットに接続していると自動的に最新の状態に更新されますが、90日間の使用制限があります。90日を経過するとウイルスチェック機能を含めて、すべての機能がご使用できなくなります。
ウイルスチェックがまったく行われな状態となりますので、必ず期限切れ前に有料の正規サービスへ登録するか、ほかのウイルスチェック/セキュリティ対策ソフトを導入してください。
- ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。
- アプリケーション起動時に使用許諾書が表示された場合は、内容を確認し、同意してください。使用許諾書に同意しないと、アプリケーションを使用することはできません。一部のアプリケーションでは、一度使用許諾書に同意すると、以降起動時に使用許諾書が表示されなくなります。リカバリーを行った場合には再び使用許諾書が表示されます。
- 『東芝保証書』は、記入内容を確認のうえ、大切に保管してください。

本製品のお客様登録（ユーザー登録）をあらかじめ行っていただくようお願いしております。当社ホームページで登録できます。

参照▶ お客様登録について『オンラインマニュアル 付録 3 お客様登録の手続き』

9 【ユーザーアカウント制御】画面について

操作の途中で「ユーザーアカウント制御」画面が表示された場合は、そのメッセージを注意して読み、開始した操作の内容を確認してから、画面の指示に従って操作してください。パスワードの入力を求められた場合は、管理者アカウントのパスワードで認証を行ってください。

10 環境依存文字について

- ユーザーアカウント名やフォルダー名に環境依存文字が含まれていると、ファイルの読み込みや保存などが正常に動作しないことがあります。
- コンピューター名に環境依存文字が含まれていると、アプリケーションが起動しないなど、正常に動作しないことがあります。
- ファイル名やファイル内の文字列に環境依存文字が含まれていると、ファイル名が「？」などのように正しく表示されず、正常に動作しないことがあります。
- アプリケーション上でファイルの編集集中に入力した文字列に環境依存文字が含まれていると、作成したファイル上で正しく表示されないことがあります。

このような場合には、環境依存文字を含まない文字列に変更してください。

microSDメモ리카ードなどの記録メディアにデータを書き込むときは、環境依存文字が含まれていないことをあらかじめ確認してから作業を行ってください。

11 「Office」のライセンス認証について

* Office搭載モデルのみ

Office搭載モデルの場合、「Office」を使用するには、Windowsのセットアップ後にライセンス認証が必要です。

① スタート画面の「Microsoft Office」をタップする

以降は、画面の指示に従ってください。

ライセンス認証にはプロダクトキーが必要です。

プロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージを確認してください。

12 Microsoft®のラベルについて

ACアダプターには、正規のWindowsであることを証明する、「Windows 8」というMicrosoft®のラベルが貼ってあります。はがしたり汚したりしないでください。

1 章

■ 本製品の準備

この章では、Windowsのセットアップと基本操作、電源の切りかた／入れかたなど、お買い上げいただいてから実際に使い始めるまでの準備と、本体各部の名前や基本的な使いかたについて説明しています。また、本製品でご用意しているマニュアルについて説明しています。

1 使う前に確認する	12
2 各部の名称 -外觀図-	14
3 画面にタッチして操作する	16
4 Windows を使えるようにする	19
5 Windows 8.1 について	28
6 電源を切る／入れる	33
7 画面で見るマニュアル.....	37

1 使う前に確認する

1 章

本製品の準備

1 箱を開けたらまずはこれから

■ 箱の中身の確認

『****（お使いの機種名）シリーズをお使いのかたへ』を参照して、付属品がそろっているか、確認してください。足りない物がある場合や、破損している物がある場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 東芝PCあんしんサポートについて『東芝PCサポートのご案内』

■ 型番と製造番号を確認

本製品の背面に型番と製造番号が記載されています。保証書に同じ番号が記載されていることを確認してください。番号が違う場合や、不備があった場合は、東芝PCあんしんサポートにお問い合わせください。

参照▶ 記載位置について「本章 2 - 2 背面図」

2 忘れずに行ってください

■ はじめに

ご使用の際は必ず本書をはじめとする各種説明書と『ソフトウェアに関する注意事項』、Windowsのセットアップ時に表示されるライセンス条項およびエンドユーザー使用許諾契約書をお読みください。

■ 保証書は大切に保管

故障やトラブルが起こった場合、保証書があれば保証期間中（保証期間については保証書を確認してください）は東芝の無料修理サービスが受けられます。

保証書に記載の内容を読んで、確認したあと、大切に保管してください。

■ 海外保証を受けるには

海外で使用するときは「海外保証（制限付）」（ILW:International Limited Warranty）により、海外の所定の地域で、保証書に記載の無料修理規定および制限事項・注意事項の範囲内で修理サービスを利用できます。

利用方法、保証の詳細は、『東芝PCサポートのご案内』の記載内容および保証書に記載の無料修理規定を読んで、確認してください。



3 最適な場所で使う

 注意

● 本製品を持って振り回さない

ご使用の際には、必ず周囲の安全を確認し、本製品をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

ほかの人にぶつけたりして、けがをさせるおそれがあります。

人間にとって住みやすい温度と湿度の環境が、本製品にも最適な環境です。

次の点に注意して置き場所、使う場所を決めてください。

● 安定した場所に置きましょう。

不安定な場所に置くと、本製品が落ちたり倒れたりするおそれがあり、故障やけがにつながります。

● 温度や湿度が高いところは避けましょう。

暖房や加湿器の送風が直接あたる場所はよくありません。

● 強い磁気を発するものの近くで使用しないでください。

磁石はもちろん、スピーカー、テレビの近くは磁気の影響を受けます。磁気プレスレットなども本製品を使用するときには必ずようにしましょう。

● 照明や日光があたる位置も考慮しましょう。

照明や日光が直接ディスプレイにあたると、反射して画面が見づらくなります。

● ラジオやテレビの近くで使用しないでください。

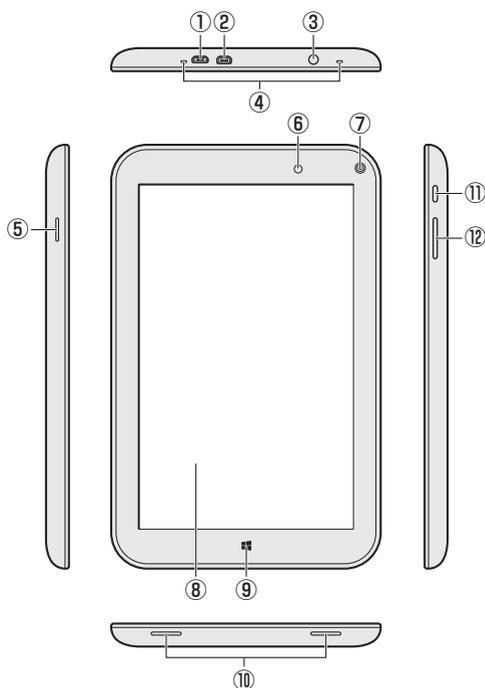
ラジオやテレビの受信障害を引き起こすことがあります。

● 無線通信装置から離してください。

携帯電話も無線通信装置の一種です。

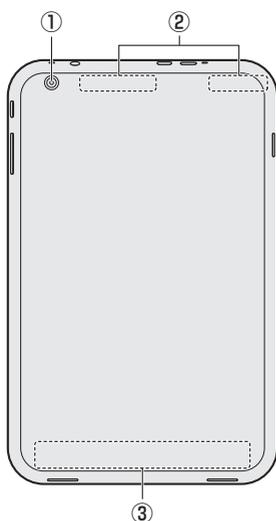
ここでは、各部の名前と機能を簡単に説明します。
それぞれの詳細は、各参照ページや『オンラインマニュアル』を確認してください。

1 前面図



- ①  **microUSB コネクタ**
充電時に使用します。
また、USB 対応機器を接続できます。
USB2.0 規格に対応しています。
- ② **HDMI (micro) 出力端子**
HDMI (micro) ケーブルを接続して、
HDMI 入力対応機器（テレビ、外部ディスプレイなど）に本製品の映像を表示します。
- ③  **ヘッドセット/ヘッドホン端子**
ヘッドセットやヘッドホンを接続します。
- ④ **マイク**
- ⑤  **SD カードスロット**
microSD メモリカードをセットします。
- ⑥ **照度センサー**
この部分に本体液晶ディスプレイの明るさを自動調整するためのセンサーが内蔵されています。照度センサーをふさがないでください。正常に調整されない場合があります。
- ⑦ **Web カメラ**
写真や動画を撮影するためのものです。
- ⑧ **ディスプレイ (画面)**
- ⑨  **Windows ボタン**
スタート画面を表示します。
- ⑩ **スピーカー**
- ⑪  **電源スイッチ** (⇒ P.22、36)
- ⑫ **音量ボタン**
(音量大 (+)、音量小 (-) ボタン)

2 背面図



① Webカメラ

② この部分に無線通信用のアンテナが内蔵されています。

③ 型番と製造番号

型番（機種名）と製造番号が記載されています。

※ バッテリーパックは本製品に内蔵されています。

⚠ 危険

- 本製品に内蔵されているバッテリーパックを使用する寿命などで交換する場合は、東芝PCあんしんサポートに依頼してください。バッテリーパックの交換は、保証期間内でも有料になります。

お願い

■ 本製品のメモリ、バッテリーについて

- 本製品はメモリの増設が行えません。
- 本製品にはバッテリーパックが内蔵されていますが、お客様ご自身で取りはずしや交換をしないでください。

■ 機器への強い衝撃や外圧について

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 1 - 機器への強い衝撃や外圧について」

3 画面にタッチして操作する

1章

本製品の準備

本製品では、画面の表面をタッチすることによって、さまざまな操作を行うことができます。ここでは、指を使った基本的な操作を説明します。

お願い 画面のタッチ操作にあたって

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

参照 ▶ 「付録 1 - 1 - 画面のタッチ操作にあたって」

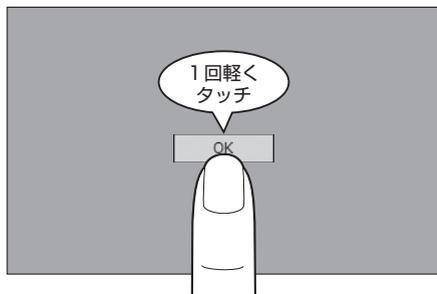
メモ

- アプリケーションや機能によっては、画面をタッチして操作できない場合があります。

■ タップ

目的のアイコンやボタンなどを1回軽くタッチします。

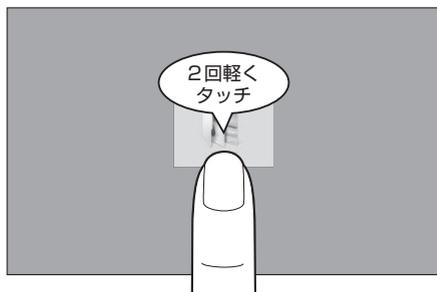
ボタンの操作、アプリケーションの起動、文字の入力などが行えます。



■ ダブルタップ

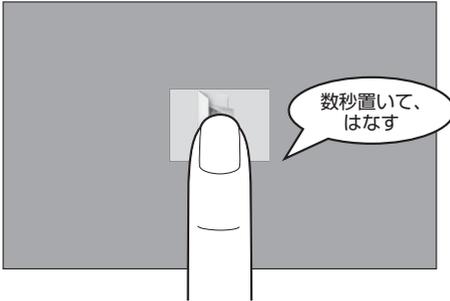
目的のアイコンなどを2回軽くタッチします。

アプリケーションの起動などが行えます。



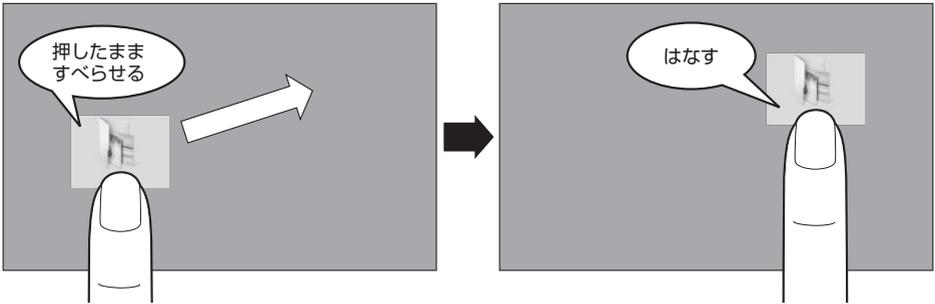
■長押し（ロングタップ）

アイコンなどの上に指を数秒置いて、はなします。
触れているアイコンに対して、メニューなどが表示されます。



■ドラッグ

アイコンなどの上に指を置き、移動したい場所までずらせませす。



■スワイプ、スライド

画面に指を置き、画面を軽くはらうように動かしたり（スワイプ）、なぞったり（スライド）します。
画面を左右に切り替えたり、画面に表示しきれない一覧をスクロールする場合などに行います。

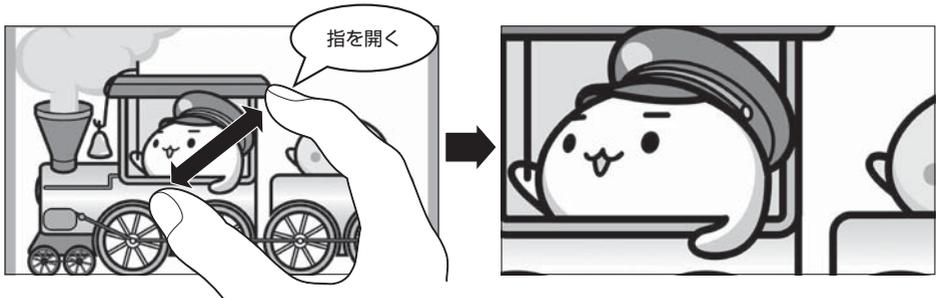


3 画面にタッチして操作する

■ピンチアウト、ピンチイン

画面に指を2本置き、指を開いたり閉じたりすることで、画面に表示している内容や、画像の表示サイズを変更できます。

指を開く（ピンチアウトする）と拡大され、閉じる（ピンチインする）と縮小されます。



メモ

- ダブルタップを行っても、画面に表示している内容などを拡大／縮小できます。

1章

本製品の準備

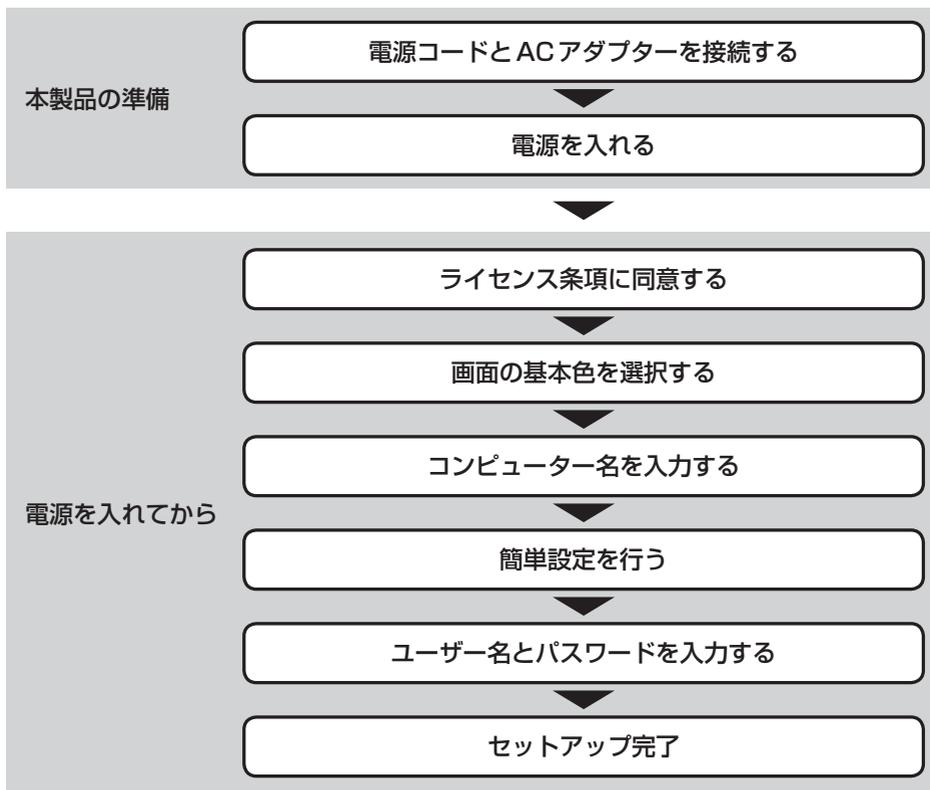
1 Windows セットアップ

初めて電源を入れたときは、Windowsのセットアップを行います。

Windowsのセットアップは、本製品をできるようにするために必要な操作です。

作業を始める前に、付属の冊子『安心してお使いいただくために』を必ず読んでください。特に電源コードやACアダプターの取り扱いについて、注意事項を守ってください。

1 操作の流れ



お願い セットアップをするときの注意

■ 電源コードとACアダプターを接続してください

- バッテリーの充電量が少ないと本体の電源が入らないことがあります。初めて使用するときは、電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーを充電してから使用してください。

■ 周辺機器は接続しないでください

- セットアップを開始する前に、本製品に電源コードとACアダプター以外のものが接続されていないことを確認してください。
電源コードとACアダプター以外のものが接続されている場合は、本製品の電源を切った状態であらかじめ取りはずしてください。
セットアップは電源コードとACアダプターのみを接続して行います。
セットアップが完了するまでは、プリンター、マウスなどの周辺機器は接続しないでください。

■ 途中で電源を切らないでください

- セットアップの途中で電源スイッチを押したり電源コードを抜くと、故障や起動できない原因になり、修理が必要となることがあります。

■ 操作は時間をあけないでください

- セットアップ中にタッチキーボードの操作が必要な画面があります。時間をあけないで操作を続けてください。
しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。

2 電源コードとACアダプターを接続する

⚠ 警告

- ACアダプターは本製品に付属のものを使用する
本製品付属以外のACアダプターを使用すると電圧や(+) (-)の極性が異なることがあるため、火災・破裂・発熱のおそれがあります。
また、付属のACアダプターを他の製品に使用しないでください。
- 本製品にACアダプターを接続する場合、本書に記載してある順番を守って接続する
順番を守らないと、電源コードのプラグが帯電し、感電またはけがをすることがあります。
また、電源コードのプラグを本製品のmicroUSBコネクタ以外の金属部分に触れないようにしてください。

⚠ 注意

- 付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター以外には使用しない
付属の電源コードは、本製品付属のACアダプター専用です。
- microUSBコネクタを取り扱うときは次の点を守る
 - ・ 本製品のmicroUSBコネクタに電源コードを確実に差し込む
 - ・ 本製品のmicroUSBコネクタ部には強い力を加えない
確実に差し込まないと、やけど、発煙のおそれがあります。

お願い 電源コードの取り扱いについて

- あらかじめ、次の説明を確認してください。

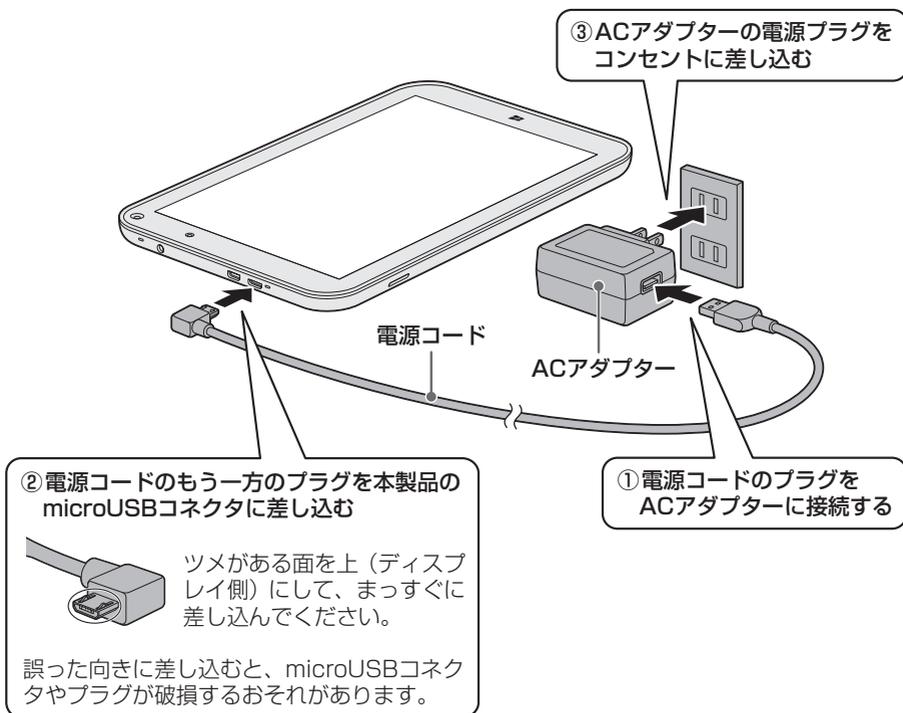
参照 「付録 1 - 2 電源コードの取り扱いについて」

次の図の①→②→③の順で行ってください。

初めて電源を入れるときには、電源コードとACアダプターを接続してください。

1章

本製品の準備

**接続すると**

バッテリーへの充電が自動的に始まります。バッテリーの充電量は、Windows セットアップ後にデスクトップ画面上で確認できます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル 5章 1 - 1 バッテリー充電量を確認する』

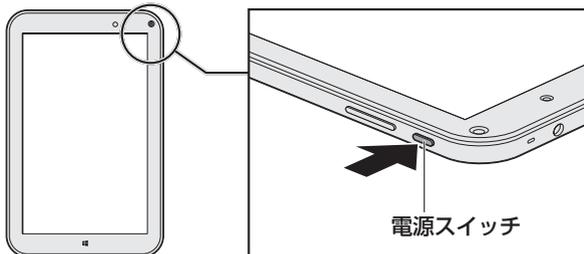
メモ

- バッテリー充電中でも本製品を使用することができます。

参照 詳細について『オンラインマニュアル 5章 1 バッテリーについて』

3 電源を入れる

- 1 電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす
確実に電源スイッチを押してください。



これで本製品の準備は完了です。
続いてWindowsのセットアップに進みます。

4 Windows のセットアップ

セットアップには約 10～20分かかります。

- 1 Windows と東芝のライセンス条項の内容を最後まで確認し、[同意します] をタップする
[パーソナル設定] 画面が表示されます。

- 2 好きな色を選択する

Windows 画面上の基本色を設定できます。表示されているバーの中から好みの色をタップしてください。
色はあとから変更できます。

次の手順の前に「コンピューター名」とは

コンピューターに名前をつけるのは、使用する製品をほかの製品と区別するためです。
必ず設定してください。

- 3 PC (コンピューター) 名を入力する

半角英数字で任意の文字列を入力してください。半角英数字以外は使用しないでください。

「|」(カーソル) が表示されている位置から文字の入力ができます。

同じネットワークに接続するコンピューターとは別の名前にしてください。

「dynabook」と入力するときは、タッチキーボードで **d y n a b o o k** とタップします。

■ タッチキーボード

Windows セットアップで文字や記号を入力するときは、タッチキーボードを使用します。入力欄をタップすると画面にキーボードが表示されます。入力したい文字や記号のキーをタップしてください。

ここでは、次のキーボードの例で説明します。選択しているキーボードによって、表示されるアイコンの種類や形状は異なります。



(表示例)

[&123] () をタップすると、記号キー／数字キーと、英字キーの表示を切り替えます。

キーボードの入力モードは、英字キーの画面で変更できます。



(表示例)

● 入力モードを切り替えるには

PC (コンピューター) 名、ユーザー名、パスワードは、半角英数字で入力してください。

[あ] () と表示されている場合、ひらがな入力モードになっています。

半角英数入力モードにするには、[あ] () をタップして [A] () に切り替えてください。

● キーをタップしても表示されないときは

キーをタップしても文字が表示されない場合は、入力欄に「|」(カーソル) が点滅しながら表示されていることを確認してください。表示されている位置から文字を入力できます。表示されていないときは、入力欄をタップしてください。

● 入力を間違えたときは

入力を間違えたときは次の操作で文字を削除して、もう一度入力しましょう。

・カーソルの左側の文字を削除する  をタップする

カーソルを左右に動かすには、  キーまたは  キーをタップします。

● キーボードを切り替えるには

キーボードのアイコン () をタップして、表示されたメニューからキーボードの種類を切り替えることができます。使用したいキーボードのアイコンをタップしてください。

4 [次へ] をタップする

[オンラインに接続] 画面が表示された場合は、手順 **5** に進んでください。

[設定] 画面が表示された場合は、手順 **6** に進んでください。

5 無線LANの設定を省略するので、[この手順をスキップする] をタップする

無線LAN機能を使ったネットワークへの接続は、セットアップ完了後に行えるので、ここでは省略した場合について説明します。

[設定] 画面が表示されます。

6 [簡単設定を使う] をタップする

本製品を使用するうえでの基本的な設定は、セットアップ完了後に変更できるので、ここでは「簡単設定」を選択した場合について説明します。

[お使いのアカウント] 画面が表示されます。

次の手順の前に「ユーザー名」とは

ユーザー名は、Windowsを使用しているユーザーをWindows側で識別するための名前です。

次の手順では、管理者ユーザーのユーザー名を登録します。必ず設定してください。

管理者ユーザーとは、ネットワークや本製品を管理する権限を持つユーザーのことです。複数のユーザーで1台の本製品を使用する場合、管理者ユーザーは、ほかのユーザーに対して使用制限の設定も行えます。

管理者以外のユーザーは、Windowsのセットアップ後に登録できます。

7 ユーザー名を入力する

[ユーザー名]と書いてある右の欄に、管理者ユーザーの名前を入力してください。ユーザー名は、半角英数字で入力してください。

■ ユーザー名に使える文字列

ユーザー名を入力するとき、次の文字列を使用しないでください。

CON、PRN、AUX、NUL、COM1、COM2、COM3、COM4、COM5、
COM6、COM7、COM8、COM9、LPT1、LPT2、LPT3、LPT4、LPT5、
LPT6、LPT7、LPT8、LPT9、@、(スペース)

 次の手順の前に「パスワード」(Windowsパスワード)とは

パスワードとは、それを入力しないと次のステップに進めないようにできる、特定の文字列です。

ここでは、Windowsを起動するときに入力しないと、Windowsを起動できないようにするためのパスワードを設定します。これを「Windowsパスワード」と呼びます。

お願い

- パスワードを忘れると、Windowsを起動するためには、「リカバリー」という、購入時の状態に戻す処理をするしか、方法がなくなってしまいます。その場合、購入後に本製品に保存したデータやアプリケーションなどはすべて消失するので、パスワードは忘れないようにしてください。

8 パスワードを入力する

[パスワード] と書いてある右の欄に、Windowsパスワードとして設定したい文字を入力してください。

Windowsパスワードは半角英数字で127文字まで設定できます。8文字以上で設定することを推奨します。英字の場合、大文字と小文字は区別されます。

Windowsパスワードを入力しないでそのまま次の画面へ進むこともできますが、セキュリティ上、設定することを強くおすすめします。

入力した文字は「●●●●●●」で表示されるため、画面を見て確認することはできません。入力し間違えても画面ではわからないので、気をつけて入力してください。

9 パスワードをもう一度入力する

[パスワードの確認入力] と書いてある右の欄に、手順 **8** で入力したWindowsパスワードを、もう一度入力してください。

 次の手順の前に「パスワードのヒント」とは

設定したWindowsパスワードを忘れてしまったときのために、あらかじめヒントを設定しておく、パスワード入力画面で表示させることができます。

10 パスワードのヒントを入力する

[パスワードのヒント] と書いてある右の欄に、それを読めば自分だけはパスワードを思い出せるようなヒントを入力してください。

11 [完了] をタップする

12 本製品の設定が準備される

Windows セットアップが終了すると、コンピューターがユーザーの設定を準備します。しばらくお待ちください。

ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かって指でスワイプしてください。次の画面に進みます。

パスワードを入力する画面が表示された場合は、パスワードを入力して **[Enter]** キー（**←**）をタップしてください。

Windows が起動します。



- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。
-

5 Windows セットアップが終了したら

日付と時刻の確認

日付と時刻は、デスクトップ画面右下の [通知領域] などに表示されています。

正しく設定されているかどうか確認してください。

正しく設定されていない場合は、日付と時刻を設定し直してください。

参照 日付と時刻の設定について「3章 1 - 3」- Q 内蔵時計が合っていない」

Windows を最新の状態にする

「Windows Update」で更新プログラムをインストールしてください。

「Windows Update」については、チャームの [検索] 欄に「Windows Update」と入力して検索してください。

参照 「本章 5 - 4」- チャームの検索で調べる」

リカバリーメディアの作成

リカバリーメディアを作成しておくことを強くおすすめします。

リカバリーメディアとは、システムやアプリケーションをご購入時の状態に復元（リカバリー）するためのものです。

参照 リカバリーメディアについて

『オンラインマニュアル 1章 1 リカバリーメディアを作る』

なお、リカバリーメディアを使って実際にリカバリーを行うときは、操作の流れをよくご確認ください。

参照 リカバリーについて「2章 3 本製品を初期状態に戻す」

バックアップをとる

作成したファイルを誤って削除してしまったり、突然の本製品のトラブルによって保存したファイルが使えなくなってしまうことがあります。

このような場合に備えて、あらかじめファイルを microSD メモリカードなどの記録メディアにコピーしておくことをバックアップといいます。

一度なくしたデータを復旧することはできません。

万が一のために、必ず定期的にバックアップをとりましょう。

5 Windows 8.1 について

1 章

本製品の準備

Windows 8.1 の画面構成やメニューの位置は、Windows 7 などの従来の Windows とは異なっています。従来の Windows と Windows 8.1 で大きく異なる点は、メイン画面が 2 種類あることです。起動して最初に表示される「スタート画面」*¹と、従来の Windows に似ている「デスクトップ画面」があります。

* 1 起動して最初に表示される画面をデスクトップ画面に変更することもできます。

<スタート画面>



(表示例)

<デスクトップ画面>



(表示例)

1 画面の切り替えについて

スタート画面とデスクトップ画面の切り替えかたについて説明します。

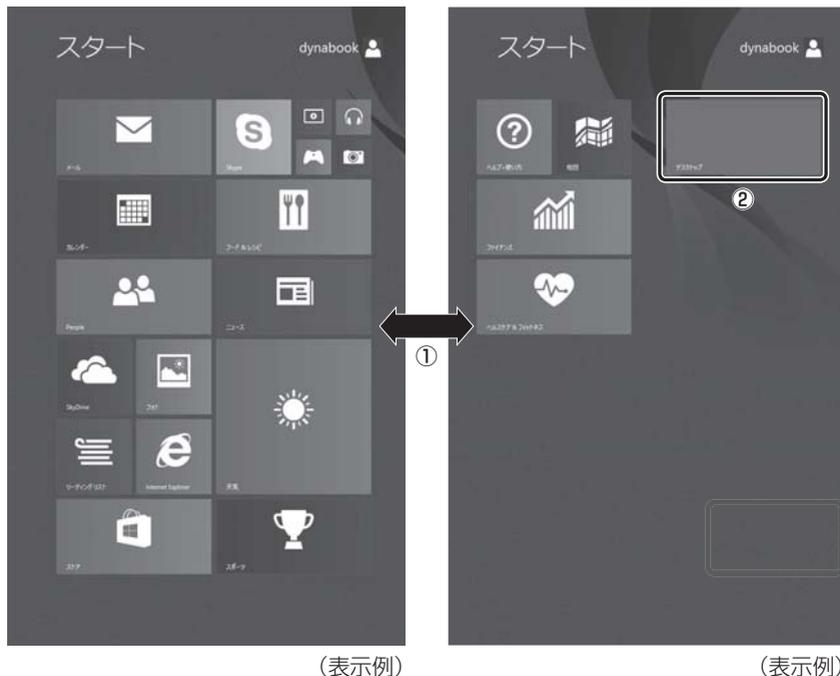
□ スタート画面からデスクトップ画面に切り替える

1 [デスクトップ] をタップする

スタート画面に表示しきれない部分がある場合、画面を左右にスクロールすると、ほかの部分を見ることができます。

画面を左右に指でスライドし①、[デスクトップ] をタップしてください②。

* [デスクトップ] アイコン (タイル) は、デスクトップ画面の壁紙によって表示されるアイコンが異なります。また、モデルや使用状況により、画面上での位置が異なる場合があります。



デスクトップ画面が表示されます。

□ デスクトップ画面からスタート画面に切り替える

1 本製品のWindows ボタン () をタップする

スタート画面が表示されます。

参照 ▶ Windows ボタン「本章 2 - 1 前面図」

デスクトップ画面の [スタート] アイコン () をタップして、スタート画面に切り替えることもできます。



メモ

- Windows を起動して最初に表示される画面*1 を、スタート画面ではなく、デスクトップ画面に変更できます。

* 1 Windows パスワードを設定している場合や、ほかのユーザーアカウントを登録している場合は、先に確認の画面が表示されます。

次の設定を行ってください。

- ① デスクトップ画面でタスクバーを長押しする
メニューが表示されます。
- ② [プロパティ] をタップする
- ③ [ナビゲーション] タブをタップし、[サインイン時または画面上のすべてのアプリを終了したときに、スタート画面ではなくデスクトップに移動する] をチェックする
- ④ [OK] ボタンをタップする

2 チャームの操作について

「チャーム」と呼ばれるメニューバーの操作について説明します。

1 画面の右端から左に向かって指でスワイプする



(表示例)

5つのメニューアイコンが表示されます。

2 目的の項目を選択する



(表示例)

検索	本製品内のアプリケーション、ファイル、機能などを検索します。インターネット上の情報検索もできます。
共有	共有するためのツールが用意されています。
スタート	画面を切り替えます。
デバイス	本製品に接続している周辺機器を表示します。
設定	設定メニューです。電源を切るためのメニューもここにあります。

3 アプリケーション一覧の表示について

アプリケーション一覧の表示方法について説明します。

- 1 スタート画面で、画面の中央から上に向かってスライドする [アプリ] 画面が表示されます。

4 Windows 8.1 でわからない操作があったとき

Windows 8.1 については、チャームの [検索] (🔍) を使って調べたり、スタート画面の [ヘルプ+使い方] (🔗) をタップして『ヘルプ+使い方』の説明を参照してください。インターネット上の情報検索もできます。

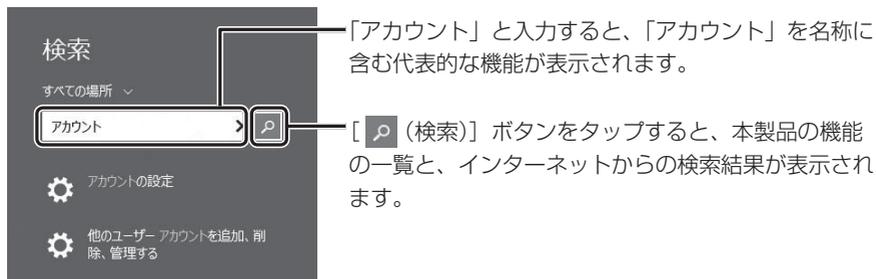
■ チャームの検索で調べる

チャームの [検索] (🔍) を使うと、入力した項目について、本製品に該当する名称の機能がある場合、代表的な項目が表示されます。さらに [🔍 (検索)] ボタンをタップすると、検索した名称に該当する本製品の機能の一覧と、インターネットに接続している場合、名称に関するインターネット上の情報が表示されます。

検索後、目的の項目を選択してください。

■ 検索を行う

ここでは例として「アカウント」を検索します。



1 電源を切る

本製品を使い終わったとき、電源を完全に切る「シャットダウン」を行ってください。間違った操作を行うと、故障したり大切なデータを失ったりするおそれがあります。中断するときは、それまでの作業をメモリに保存して一時的に中断する「スリープ」があります。

参照▶ スリープについて『オンラインマニュアル 2章 2-1 スリープ』

⚠ 警告**● 電子機器の使用が制限されている場所では本製品の電源を切る**

本製品を航空機や電子機器の使用が制限されている場所（病院など）に持ち込む場合は、無線通信機能を無効に設定したうえで、本製品の電源を切ってください。ほかの機器に影響を与えることがあります。

・無線通信機能は、次の手順でOFFにすることができます。

① チャームの「設定」をタップする

② () をタップし、[ネットワーク] 画面で [機内モード] を [オン] に設定する

・スリープや休止状態では、本製品が自動的に復帰することがあるため、飛行を妨げたり、ほかのシステムに影響を及ぼしたりすることがあります。

・電源を切った状態でも、本製品が自動的に起動するような設定のソフトウェアの場合は、あらかじめ設定を無効（解除）にしてください。

お願い 電源を切る前に

- 必要なデータは必ず保存してください。保存されていないデータは消失します。
- 起動中のアプリケーションは終了してください。
- 内蔵フラッシュメモリやメディアへのアクセス中は、電源を切らないでください。データが消失するおそれがあります。

電源を切るには、次のように操作してください。

1 画面の右端から左に向かってスワイプする



(表示例)

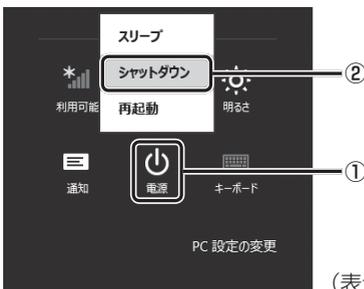
チャームが表示されます。

2 [設定] をタップする



画面右側に [設定] 画面が表示されます。

3 [電源] をタップし①、表示されたメニューから [シャットダウン] をタップする②



(表示例)

Windowsを終了したあと、本製品の電源が自動的に切れます。

 メモ

- デスクトップ画面の [スタート] アイコン () を長押しして、表示されるメニューから [シャットダウンまたはサインアウト] → [シャットダウン] をタップしても、電源を切ることができます。
- 電源スイッチを約2~9秒押しすと、「スライドしてPCをシャットダウンします」という画面が表示されます。この画面を下に向かってスライドしても、電源を切ることができます。
- システムが操作できなくなり、チャームの [設定] 画面から電源を切ることができない場合は、電源スイッチを10秒以上押しすと、強制的に電源を切る (強制終了) ことができます。強制終了は、システムが操作できなくなったとき以外には行わないでください。強制終了を行うと、スリープ/休止状態は無効になります。
- 電源が入っている状態で電源スイッチを短く押しすと、画面表示がOFFになります。もう一度表示するには、電源スイッチを短く押ししてください。

お願い 電源を切ったあとは

- 本製品に接続している機器 (周辺機器) の電源は、本製品の電源を切ったあとに切ってください。
- 本製品や周辺機器の電源は、切ったあとすぐに入れないでください。故障の原因となります。
- 周辺機器の取り付け/取りはずし、BIOSセットアップの設定などを行うときは、以下の手順で電源を切ってください。
 - ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
 - ② [設定] をタップする
 - ③ [PC設定の変更] をタップする
 - ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
 - ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

■ 再起動

Windowsを終了したあと、すぐにもう一度起動することを「再起動」といいます。本製品の設定を変えたときや本製品がスムーズに動かなくなってしまったときなどに行います。再起動するには、次のように操作してください。

- ① チャームの [設定] をタップする
画面右側に [設定] 画面が表示されます。
- ② [電源] をタップし、表示されたメニューから [再起動] をタップする

 メモ

- デスクトップ画面の [スタート] アイコン () を長押しして、表示されるメニューから [シャットダウンまたはサインアウト] → [再起動] をタップしても、再起動することができます。

2 電源を入れる

Windows セットアップを終えたあとは、次の手順で電源を入れます。

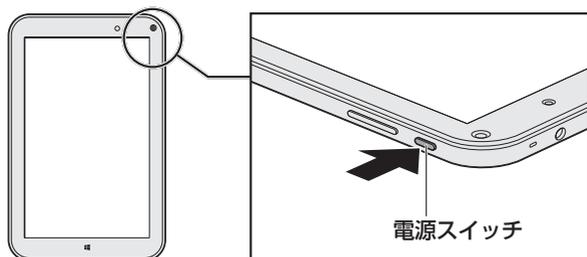
お願い 電源を入れる前に

- 各スロットに記録メディアなどをセットしている場合は取り出してください。
- プリンターなどの周辺機器を接続している場合は、本製品より先に周辺機器の電源を入れてください。
- バッテリーの充電量が少ないと本体の電源が入らないことがあります。
長時間使用していなかったときは、電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーを充電してから使用してください。

参照 「本章 4 - ① - 2 電源コードとACアダプターを接続する」

1 電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。



ロック画面（画面左下に大きく日時が表示されている状態）が表示された場合は、画面の下側から上に向かって指でスワイプしてください。

次の画面に進みます。

各種パスワードを設定している場合は、パスワードを入力する画面が表示されます。パスワードを入力して **Enter** キー（**↵**）をタップしてください。

複数のユーザーで1台の本製品を使用している場合、表示されているユーザーとは違うユーザーでサインインしたいときは、[ユーザーの切り替え] ボタン（**⇄**）をタップしてください。ユーザーの一覧が表示され、希望のユーザーを選択できます。

Windows が起動します。

 **メモ**

- しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。
もう一度表示するには、電源スイッチを短く押してください。

Windowsが起動しているときに、『オンラインマニュアル』を本製品の画面上で見ることができます。

『オンラインマニュアル』には、本製品の使用方法についての説明がより多く記載されています。

起動方法

- 1** スタート画面の [デスクトップ] をタップする
デスクトップ画面が表示されます。
- 2** [オンラインマニュアル] アイコン () をダブルタップする
『オンラインマニュアル』が表示されます。



- 『取扱説明書 (本書)』の内容も、本製品の画面上で見ることができます。東芝PC総合情報サイト「dynabook.com (<http://dynabook.com/pc/>)」からダウンロードしてください。

2章

■ 本製品を再セットアップするには

この章では、本製品の動作がおかしくなり、いろいろなトラブル対処方法を試しても解決できなかったときに行う、本製品のリフレッシュやリカバリーについて説明します。

- 1 本製品の調子がおかしいときは 40
- 2 本製品をリフレッシュする 42
- 3 本製品を初期状態に戻す -リカバリー- 47

1 本製品の調子がおかしいときは

本製品の動作がおかしいと感じたときは、次の方法を実行してください。

2章

本製品を再セットアップするには

次の方法を実行してみる

■ ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する

ウイルスが検出されたら、ウイルスチェックソフトで駆除できます。その際、ウイルス定義ファイル（パターンファイル）は、最新のものに更新しておいてください。場合によっては、ウイルスチェックソフトで駆除できないウイルスもあります。

参照 ウイルスチェックソフトのヘルプ

■ 周辺機器をすべて取りはずし、再度確認する

USB対応機器など、購入後に追加で増設した機器が障害の原因の可能性があるので、それらを取りはずしてから、再起動してください。また、電源関連のトラブルの場合は、本製品の電源を切り、電源コードとACアダプターをいったん取りはずし、再度取り付けてから起動し直してください。

参照 機器の取りはずし『オンラインマニュアル 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

■ ほかのトラブル解消方法を探す

「3章 **1** Q&A集」、『オンラインマニュアル』を確認してください。いろいろな解消方法を紹介しています。

■ 「システムの復元」で以前の状態に復元する

「システムの復元」は、本製品に問題が発生したときに、個人用のデータを失わずに本製品を以前の状態に復元するための機能です。

参照 「本節 - **1** 「詳細オプション」で調べる」

それでも改善しない場合

本製品をリフレッシュする

おもな個人データを消去せずに、Windowsを再インストールします。

参照 「本章 **2** 本製品をリフレッシュする」

巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」

それでも改善しない場合

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）

個人データ、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべてを消去して、本製品を初期状態に戻します。大切なデータは、あらかじめバックアップしてください。

参照 「本章 **3** 本製品を初期状態に戻す」

巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」

1 「詳細オプション」で調べる

「詳細オプション」とは、Windowsが正常に起動しなくなった場合に、問題を解決して起動できるようにするメニューが集まったものです。

1 起動方法

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
- ② [設定] をタップする
- ③ [PC設定の変更] をタップする
- ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
- ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

4 [HDD Recovery] をタップする

確認のメッセージが表示されます。

5 「Yes」または「はい」をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

6 [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

7 [詳細オプション] をタップする

[詳細オプション] 画面が表示されます。

8 使いたいメニュー名をタップする

この後の操作は、メニューによって異なります。表示された画面の指示に従って操作してください。

2 章

本製品を再セットアップするには

2

本製品をリフレッシュする

本製品のリフレッシュ機能は、OSに搭載されているトラブルシューティングのツールです。Windowsの再インストールを行います。

本製品をリフレッシュすると、一部のアプリケーションや設定などが消去されます。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときに本製品をリフレッシュしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
- 周辺機器が使えなくなった
- 内蔵フラッシュメモリにあるシステムファイルを削除してしまった
- コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
- 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
- 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リフレッシュが必要」と診断された

*¹ ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度本製品のリフレッシュを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。

本製品のリフレッシュには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品のリフレッシュができなくなることがあります。
- 本製品のリフレッシュは、方法によっては、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリフレッシュを実行されないよう、注意してください。

2章

本製品を再セットアップするには

■ リフレッシュにより消去される内容

本製品をリフレッシュすると、次のものが消去されます。

- 本製品を購入後にインストールしたアプリケーション（Windowsストアからインストールしたアプリケーションは除く）
たとえば、プレインストールされていないプリンタードライバーなど
- アプリケーションの設定
- Windows Updateによる更新モジュール

■ 消去されない内容

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）、デスクトップ上のデータなど、内蔵フラッシュメモリ上のファイル（[ごみ箱] 内のファイルを除く）
- 本製品にプレインストールされているアプリケーション
- Windowsストアからインストールしたアプリケーション
- ユーザーアカウント
- インターネットの接続設定や、無線LAN／モバイルネットワーク
- デスクトップの設定（テーマや壁紙）
- [PC 設定] の個人用設定

1 リフレッシュ前に行うこと

リフレッシュをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」をコピーしたもの

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーションやプリンターなどの周辺機器のドライバー（Windowsストアからインストールしたアプリケーションは除く）は、リフレッシュ後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモリーカードなど）が、お手元にあることを確認してください。

また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合は、リフレッシュしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照▶ 「はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について」

各種設定を確認する

ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照▶ 機器の取りはずし『オンラインマニュアル 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

2 本製品のリフレッシュを行う

Windowsが起動する場合と起動しない場合とでは、手順が異なります。

1 Windowsが起動する状態でリフレッシュする

次の操作は、管理者のユーザーアカウントで行う必要があります。

- 1** 電源コードとACアダプターを接続する
- 2** 管理者のユーザーアカウントでサインインする
- 3** 画面の右端から左に向かってスワイプする
チャームが表示されます。
参照▶ チャームの操作方法「1章 5 - 2」チャームの操作について
- 4** **【設定】** をタップする
画面右側に**【設定】**画面が表示されます。
- 5** **【PC設定の変更】** をタップする
【PC設定】画面が表示されます。
- 6** **【保守と管理】** をタップする
【保守と管理】画面が表示されます。
- 7** **【回復】** をタップし、**【PCをリフレッシュする】**の**【開始する】**をタップする
以降は、画面の指示に従って操作してください。
リフレッシュが終わるまで、電源を切らないでください。

2 Windows が起動しない状態でリフレッシュする

次の操作は、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

- 1 電源コードとACアダプターを接続する
- 2 音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押す
[Boot Menu] 画面が表示されます。
- 3 [HDD Recovery] をタップする
確認のメッセージが表示されます。
- 4 「Yes」または「はい」をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。
- 5 [トラブルシューティング] をタップする
[トラブルシューティング] 画面が表示されます。
- 6 [PCのリフレッシュ] をタップする
以降は、画面の指示に従って操作してください。
リフレッシュが終わるまで、絶対に電源を切らないでください。

3 リフレッシュ後に行うこと

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定、更新、メールの再設定などを行ってください。

参照▶ 巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」

メモ

- Office搭載モデルの場合、リフレッシュ後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照▶ 「はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について」

本製品を初期状態に戻す（リカバリー）とは、お客様が作成したデータや、購入後にインストールしたアプリケーション、現在の設定などをすべて削除し、もう一度ご購入時の状態に復元することです。内蔵フラッシュメモリ内に保存されているデータ（文書ファイル、画像・映像ファイル、メールやアプリケーションなど）はすべて消去され、設定した内容（インターネットやメールの設定、Windowsパスワードなど）も購入時の状態に戻る、つまり何も設定していない状態になります。

次のような場合で、どうしても改善する方法がないときにリカバリーをしてください。

- 本製品の動作が非常に遅くなった
 - 周辺機器が使えなくなった
 - 内蔵フラッシュメモリにあるシステムファイルを削除してしまった
 - コンピューターウイルスやスパイウェアなどに感染し、駆除できない*¹
 - 本製品の調子がおかしく、いろいろ試したが解消できない
 - 東芝PC あんしんサポートに相談した結果、「リカバリーが必要」と診断された
- *¹ ウイルスチェックソフトが正常に起動できない場合など、状態によってはウイルスチェックができない場合があります。

一度リカバリーを始めると、途中で中止したり、本製品の電源を切ることができません。リカバリーには時間がかかりますので、時間の余裕をもって行ってください。

お願い

- 市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、リカバリーができなくなることがあります。
- リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。誤ってほかの人にリカバリーを実行されないよう、注意してください。

1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ

リカバリーをする場合は、次のような流れで作業を行ってください。

初期状態に戻す前に行う

バックアップをとる など 参照 ▶ 「本節 2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと」

初期状態に戻す（画面の指示に従い、Windows セットアップまで行います）

初期状態に戻す

参照 ▶ 「本節 3 いくつかある初期状態に戻す方法」
「本節 4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す」
「本節 5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す」

Windows のセットアップ 参照 ▶ 「1 章 4 - 1 - 4 Windows のセットアップ」

初期状態に戻したあと、必要に応じて行う

周辺機器の接続

参照 ▶ 「オンラインマニュアル」
「各機器に付属の説明書」

ウイルスチェックソフトの
利用の開始

参照 ▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

インターネットの設定

参照 ▶ 「オンラインマニュアル 3 章 ネットワークの世界へ」

ウイルスチェックソフトの
パターンファイルの更新

参照 ▶ ウイルスチェックソフトのヘルプ

Windows Update

参照 ▶ 「1 章 4 - 1 - 5 - Windows を最新の状態にする」

メールの設定

参照 ▶ メールソフトのヘルプ

アプリケーションの
インストールと設定

参照 ▶ 「アプリケーションに付属の説明書」

データの復元

参照 ▶ 「本節 6 - 1 バックアップしておいたデータを復元する」

2 本製品を初期状態に戻す前にしておくこと

リカバリーをはじめる前に、次の準備と確認を行ってください。

準備するもの

- 『取扱説明書』（本書）
- 巻末の「リフレッシュ/リカバリーチェックシート」をコピーしたもの

あらかじめ作成してあるリカバリーメディアからリカバリーする場合は、次のものも準備してください。

- リカバリーメディア
- セルフパワーのUSBハブ（市販品）
 - * USBハブのプラグがmicroBタイプではない場合、本製品のmicroUSBコネクタに直接接続することができません。市販のmicroBタイプの変換ケーブルが必要です。

必要なデータのバックアップをとる

リカバリーをすると、購入後に作成したデータやインストールしたアプリケーションなど、内蔵フラッシュメモリに保存していた内容は削除されて、設定が初期化されます。次のようなデータは削除されますので、可能な場合は、記録メディア（microSDメモリカードなど）にバックアップをとってください。

- [ドキュメント]（または [マイ ドキュメント]）、[ピクチャー]（または [マイ ピクチャー]）などのデータ
- 購入後にデスクトップに保存したデータ
- 「Internet Explorer」の [お気に入り] のデータ
- メール送受信データ
- メールアドレス帳
- プレインストールされているアプリケーションのデータやファイル
- 購入後にインストールしたアプリケーションのデータ
- 購入後に作成したフォルダーとファイル

ただし、内蔵フラッシュメモリをフォーマットしたり、システムファイルを削除した場合は、バックアップをとることができません。また、リカバリーを行っても、内蔵フラッシュメモリに保存されていたデータは復元できません。

アプリケーションのセットアップ用記録メディアを確認する

購入後に追加でインストールしたアプリケーション、プリンターなどの周辺機器のドライバーは、リカバリー後に再度インストールする必要があります。これらをインストールするための記録メディア（microSDメモ리카ードなど）が、お手元にあることを確認してください。また、アプリケーションによっては、ID番号などが必要です。あらかじめ確認してください。

Office搭載モデルの場合、リカバリーしたあとに「Office」のライセンス認証が必要です。ライセンス認証の際に必要なプロダクトキーは、付属の「Office」のパッケージをご確認ください。

参照▶ 「はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について」

各種設定を確認する

インターネットやLANの設定、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定項目を控えておいてください。ウイルスチェックソフトなど、セットアップ時に認証キーの入力が必要なアプリケーションは、認証キーの番号を控えておいてください。設定項目や認証キーの番号などの確認方法は、各アプリケーションのヘルプを参照するか、サポート窓口にお問い合わせください。

その他、必要に応じて、アプリケーションの設定を控えておいてください。

無線通信機能がONであるか確認する

無線通信機能がONであることを確認してください。
ONになっていない場合は、次の手順でONに設定してください。

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプする
チャームが表示されます。
- ② [設定] をタップする
画面右側に [設定] 画面が表示されます。
- ③ [PC設定の変更] をタップする
[PC設定] 画面が表示されます。
- ④ [ネットワーク] をタップする
- ⑤ [機内モード] をタップする
- ⑥ [機内モード] を [オフ] に設定する
[オン] になっている場合は、[オフ] にしてください。
[オフ] にすると、無線通信機能がONになります。

周辺機器を取りはずす

プリンター、マウスなどの周辺機器は取りはずしてください。このとき、本製品の電源を切ってから行ってください。

参照▶ 機器の取りはずし『オンラインマニュアル 4章 周辺機器を使って機能を広げよう』

3 いくつかある初期状態に戻す方法

リカバリーには、次の方法があります。

- 内蔵フラッシュメモリからリカバリーをする
- リカバリーメディアからリカバリーをする

通常は内蔵フラッシュメモリからリカバリーをしてください。

リカバリーメディアからのリカバリーは、内蔵フラッシュメモリのリカバリーツール（システムを復元するためのもの）を消してしまったり、内蔵フラッシュメモリからリカバリーができなかった場合などに行うことをおすすめします。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル 1章 1 リカバリーメディアを作る』

4 内蔵フラッシュメモリから本製品を初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

メモ

- 記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
- ② [設定] をタップする
- ③ [PC設定の変更] をタップする
- ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
- ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

4 [HDD Recovery] をタップする

確認のメッセージが表示されます。

5 「Yes」または「はい」をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

6 【トラブルシューティング】をタップする

【トラブルシューティング】画面が表示されます。

7 【PCを初期状態に戻す】をタップする

「この操作を行うと：」と表示されます。

8 【次へ】ボタンをタップする

「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、手順 **9** に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 **10** に進んでください。

9 【Windowsがインストールされているドライブのみ】をタップする

「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。

10 【ファイルの削除のみ行う】をタップする

「すべて準備できました」と表示されます。

 メモ

- 【ドライブを完全にクリーンアップする】を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ドライブ内のデータはすべて消去されます。このため、通常は【ファイルの削除のみ行う】を選択することをおすすめします。

11 【初期状態に戻す】ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

12 セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照 ▶ 詳細について「1章 **4** - **1** - **4** Windowsのセットアップ」

5 リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

リカバリーは、ユーザー権限にかかわらず、誰でも実行できます。

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照▶ リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル 1章 1 リカバリーメディアを作る』

お願い

- リカバリーメディアからのリカバリー時はmicroUSBコネクタを使用するため、本製品に電源コードとACアダプターを接続できません。
バッテリー駆動で使用中にバッテリーの消耗などによってリカバリーに失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

メモ

- リカバリーメディア以外の記録メディアをセットしていない状態で実行してください。セットされていると、エラーになる場合があります。
- [キャンセル] ボタンが無い画面で操作を中断したい場合は、[オプションの選択] 画面が表示されるまで  ボタンをタップし、[PCの電源を切る] ボタンをタップしてください。
 ボタンが表示されていない場合は、[キャンセル] ボタンが表示されるまで操作を進めてから [キャンセル] ボタンをタップしてください。

1 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照▶ 詳細について『オンラインマニュアル 5章 1 - 2] バッテリーを充電する』

2 データを保存し、次の方法で電源を切る

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
- ② [設定] をタップする
- ③ [PC設定の変更] をタップする
- ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
- ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

3 電源コードとACアダプターを取りはずす

4 本製品のmicroUSBコネクタに、市販のセルフパワーのUSBハブを接続する

セルフパワーのUSBハブとは、接続しているUSB対応機器にUSBハブのACアダプターから給電ができるタイプのものです。

USBハブのプラグがmicroBタイプではない場合、本製品のmicroUSBコネクタに直接接続することができません。市販のmicroBタイプの変換ケーブルを使用してください。

- 5 USBハブにリカバリーメディア（USBフラッシュメモリ）を接続する
- 6 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す
[Boot Menu] 画面が表示されます。
- 7 USBフラッシュメモリを示す項目（[EFI USB Device] など）をタップする
[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示された場合は、手順 8 に進んでください。
[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 9 に進んでください。
- 8 [Microsoft IME] をタップする
[オプションの選択] 画面が表示されます。
- 9 [トラブルシューティング] をタップする
[トラブルシューティング] 画面が表示されます。
- 10 [PCを初期状態に戻す] をタップする
「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、手順 11 に進んでください。
「この操作を行うと：」と表示された場合は、手順 12 に進んでください。
- 11 [Windows 8.1] をタップする
「この操作を行うと：」と表示されます。
- 12 [次へ] ボタンをタップする
「PCのドライブのパーティション分割をやり直しますか？」と表示されます。
- 13 [いいえ、これまでのパーティションをそのまま使います] をタップする
「PCにはドライブが複数あります。」と表示された場合は、手順 14 に進んでください。
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示された場合は、手順 15 に進んでください。
- 14 [Windowsがインストールされているドライブのみ] をタップする
「ファイルの削除だけでなく、ドライブを完全にクリーンアップしますか？」と表示されます。
- 15 [ファイルの削除のみ行う] をタップする
「すべて準備できました」と表示されます。

 メモ

- [ドライブを完全にクリーンアップする] を選択してもリカバリーは行えますが、5時間程度かかる場合があります。また、ドライブ内のデータはすべて消去されます。このため、通常は [ファイルの削除のみ行う] を選択することをおすすめします。

16 [初期状態に戻す] ボタンをタップする

画面下部に進行状況がパーセントで表示されます。セットアップ画面が表示されるまで、何も操作する必要はありません。そのまましばらくお待ちください。
また、この間は絶対に電源を切らないでください。

17 セットアップ画面が表示されたら、Windowsのセットアップを行う

参照▶ 詳細について「1章 4 - 1 - 4 Windowsのセットアップ」

6 本製品を初期状態に戻したあとは

周辺機器の接続、ウイルスチェックソフトの設定や更新を行ってください。
インターネットの設定は、プロバイダーから送られてきた書類や、お客様ご自身で設定情報を元に、行ってください。

参照▶ 詳細について「本節 1 本製品を初期状態に戻す（リカバリー）流れ」



メモ

- Office搭載モデルの場合、リカバリー後、「Office」のライセンス認証が必要になります。

参照▶ 「はじめに - 11 「Office」のライセンス認証について」

1 バックアップしておいたデータを復元する

バックアップをとっておいたデータを使いたい場合は、バックアップした記録メディアからデータを読み込んでください。

アプリケーションによってバックアップ方法や復元方法が用意されている場合は、その方法に従って復元してください。詳しくは、アプリケーションのヘルプを参照してください。

3章

■ 困ったときは

本製品の操作をしていて困ったときに、どうしたら良いかを説明しています。トラブルが起こったときは、あわてずに、この章を読んで、解消方法を探してみてください。

また、本製品を捨てるときや人に譲るときに知っておいて欲しいことを説明しています。

1 Q&A集.....	58
2 捨てるとき／人に譲るとき	70
3 お問い合わせ先 - OS／アプリケーション-.....	74

ここに掲載しているQ&A集のほかにも、『オンラインマニュアル』にもQ&A集があります。目的の項目が見つからないときは、『オンラインマニュアル』も参照してください。

1	電源を入れるとき／切るとき	60
	Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない.....	60
	Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう 電源が入らない.....	60
	Q 電源を入れたが、システムが起動しない.....	61
	Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある.....	61
	Q しばらく操作しないとき、電源が切れる.....	61
2	画面／表示	62
	Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった.....	62
	Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、 本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、 本体液晶ディスプレイに何も表示されない.....	62
	Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、 画面が表示されなくなった.....	63
	Q 画面が薄暗く、よく見えない.....	63
	Q 画面表示が回転してしまった.....	64
3	システム／内蔵フラッシュメモリ	64
	Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった または 本製品が応答しなくなった.....	64
	Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない.....	65
	Q 内蔵時計が合っていない.....	65
	Q しばらく本製品を使用しないでいたら、 時計と日付が変更されてしまった.....	65
4	タッチパネル	66
	Q 画面にタッチしても反応しない.....	66
	Q ダブルタップがうまくいかないの、速度を変更したい.....	66

5 メッセージ 67

- Q 起動時に「**** RTC battery is low ****
Press any key to set Date/Time」と表示され、
Windowsが起動しない.....67
- Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された67
- Q 次のようなメッセージが表示された68
- Q その他のメッセージが表示された68

6 その他..... 68

- Q 本製品を初期状態に戻せなくなったときは.....68
- Q 異常なおいや過熱に気づいた！69
- Q 操作できない原因がどうしてもわからない.....69

1 電源を入れるとき／切るとき

Q 電源スイッチを押して指をはなしても、電源が入らない

A 電源スイッチを押す時間が短いと電源が入らないことがあります。
確実に電源スイッチを押してください。

Q 電源が入るが、すぐに切れてしまう
電源が入らない

A バッテリーの充電量が少ない可能性があります。
本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

A 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。
本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

A 本製品からいったん、電源コードとACアダプターを取りはずしてください。

① 電源コードとACアダプターを取りはずす

本製品に接続している周辺機器も取りはずしてください。

電源コードとACアダプターを取りはずしたままの状態、しばらく放置してください。

② 電源コードとACアダプターを取り付けて、電源プラグをコンセントに差し込む

③ 電源スイッチを押し、製品ロゴが表示されたら指をはなす

確実に電源スイッチを押してください。

参照 電源コードとACアダプターの接続

[1章 4 - [1] - 2 電源コードとACアダプターを接続する]

以上の手順でも解決できない場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q 電源を入れたが、システムが起動しない

A▶ 起動ドライブを内蔵フラッシュメモリ以外に設定した場合に、システムの入っていない記録メディアがセットされている可能性があります。

以下のとおり操作してください。

- ① システムが入っている記録メディアと取り換える、または記録メディアを取り出す
- ② Windows ボタン () をタップする、または外付けUSBキーボード (市販品) を接続して何かキーを押す

それでも正常に起動しない場合は、以下の操作を行ってください。

- ① 電源スイッチを10秒以上押し続けて電源を切る
- ② 音量大 (+) ボタンを押しながら、電源スイッチを押す
[Boot Menu] 画面が表示されます。
- ③ 起動したいドライブをタップする

Q 使用中に前触れもなく、突然電源が切れることがある

A▶ 本製品内部の温度が一定以上に達すると保護機能が働き、システムが自動的に停止します。

本製品が熱くなっている場合は、涼しい場所に移動するなどして、本製品の内部温度が下がるのを待ってください。

それでも電源が切れる場合は、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

A▶ バッテリー駆動で使用している場合、バッテリーの充電量がなくなった可能性があります。

本製品用の電源コードとACアダプターを接続し、充電してください。
(他製品用の電源コードとACアダプターは使用できません)

Q しばらく操作しないとき、電源が切れる

A▶ 省電力機能が働いた可能性があります。

しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。電源スイッチを短く押すと表示が復帰します。

テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

- A** 自動的にスリープになった可能性があります。
一定時間本製品を使用しないときに、自動的にスリープになるように設定されています。復帰させるには、電源スイッチを短く押してください。
また、次の手順で設定を解除できます。
- ① スタート画面で、画面の中央から上に向かってスライドする
 - ② [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をタップする
 - ③ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をタップする
 - ④ 利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をタップする
 - ⑤ [コンピューターをスリープ状態にする] で [適用しない] を選択する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] にそれぞれ設定してください。
 - ⑥ [変更の保存] ボタンをタップする

2 画面／表示

Q しばらく放置したら、画面が真っ暗になった

- A** 省電力機能が働いた可能性があります。
しばらく操作しないと、画面に表示される内容が見えなくなる場合があります。これは省電力機能が動作したためで、故障ではありません。実際には電源が入っています。電源スイッチを短く押すと表示が復帰します。
テレビまたは外部ディスプレイを接続している場合、表示が復帰するまでに10秒前後かかることがあります。

Q テレビまたは外部ディスプレイを接続した状態で、本製品をスリープや休止状態から復帰したとき、本体液晶ディスプレイに何も表示されない

- A** テレビまたは外部ディスプレイに、画面表示が切り替わっている可能性があります。
テレビまたは外部ディスプレイの電源を入れて確認してください。本製品の画面が表示されていた場合は、『オンラインマニュアル 4章 **3** - **2** 表示を切り替える』を参照して、本体液晶ディスプレイに表示を切り替えてください。

Q テレビまたは外部ディスプレイを取りはずしたときに、画面が表示されなくなった

A テレビまたは外部ディスプレイを接続してください。

テレビまたは外部ディスプレイをメインディスプレイに指定して拡張表示の設定をした場合、スリープや休止状態のときにテレビまたは外部ディスプレイを取りはずすと、スリープや休止状態から復帰したときに画面が表示されないことがあります。テレビまたは外部ディスプレイの取りはずしは、スリープや休止状態のときに行わないでください。

Q 画面が薄暗く、よく見えない

A 本体液晶ディスプレイ（画面）を明るくしてください。

次の手順で本体液晶ディスプレイの輝度を調整することができます。*1

- ①画面の右端から左に向かってスワイプする
チャームが表示されます。
- ②[設定] をタップする
画面右側に[設定]画面が表示されます。
- ③[明るさ] または [ディスプレイ] をタップして、表示されたバーで輝度を調整する
画面の輝度を確認しながら、つまみを上下にドラッグして調整してください。

*1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

A 本体液晶ディスプレイの輝度が低く設定されている可能性があります。

「電源オプション」には、本体液晶ディスプレイの輝度を落として消費電力を節約する機能があります。この機能で画面の明るさレベルを下げると、画面が暗くなります。詳しくは、「電源オプション」のヘルプを参照してください。次の手順で設定を変更してください。*1

- ①スタート画面で、画面の中央から上に向かってスライドする
- ②[Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をタップする
- ③ [ システムとセキュリティ] → [ 電源オプション] をタップする
- ④利用する電源プランを選択し、[プラン設定の変更] をタップする
- ⑤ [プランの明るさを調整] を設定する
[バッテリー駆動] と [電源に接続] をそれぞれ設定してください。
- ⑥ [変更の保存] ボタンをタップする

*1 この設定は、テレビと外部ディスプレイには反映されません。

Q 画面表示が回転してしまった

A▶ 本製品を持ち上げて、表示したい方向に傾けて調節してください。

参照▶ 『オンラインマニュアル 2章 5 - 1 - 1 画面の向きを設定する』

A▶ 画面の設定が変更されている可能性があります。

次の手順で元に戻すことができます。

- ① スタート画面の [デスクトップ] をタップする
デスクトップ画面が表示されます。
- ② デスクトップ画面上のウィンドウやアイコンなどが表示されていない場所で、長押しする
- ③ 表示されたメニューから [画面の解像度] をタップする
- ④ [向き] で表示したい方向を選択する
- ⑤ [OK] ボタンをタップする
- ⑥ [変更を維持する] ボタンをタップする

3 システム／内蔵フラッシュメモリ

Q 青い画面（ブルースクリーン）が表示され、操作できなくなった または 本製品が応答しなくなった

A▶ アプリケーションを終了できない場合や、アプリケーションを終了してもトラブルが解消しない場合は、本製品を再起動してください。

参照▶ 再起動「1章 6 - 1 - 再起動」

A▶ Windows 起動時に問題が起きた場合や、本製品を再起動できない場合は、電源スイッチを 10 秒以上押しして Windows を強制終了してください。

システムが操作できなくなったとき以外は行わないでください。強制終了を行うと、スリープ／休止状態は無効になります。また、保存されていないデータは消失します。強制終了したあと、電源を入れ直してください。

A▶ 以上の手順でも解決できない場合は、「本項 - Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない」を確認してください。

Q 再起動や電源を入れ直しても、トラブルが解消しない

A アプリケーションをインストールしてから、この問題が発生するようになった場合は、インストールしたアプリケーションがWindowsの動作に影響している可能性があります。

アプリケーションをアンインストールしてください。

参照 アンインストール『アプリケーションに付属の説明書』

A 周辺機器を接続してから、この問題が発生するようになった場合は、接続した周辺機器がWindowsの動作に影響している可能性があります。

周辺機器を取りはずしてください。周辺機器によっては、周辺機器に付属のドライバーやアプリケーションを本製品にインストールしている場合があります。これらのドライバーやアプリケーションもアンインストールしてください。

参照 周辺機器の取り扱いについて『周辺機器に付属の説明書』

Q 内蔵時計が合っていない

A 次の手順で【日付と時刻】画面で修正してください。

- ① デスクトップ画面で、通知領域の日付・時刻表示をタップする
カレンダーと時計が表示されます。
- ② 【日付と時刻の設定の変更】をタップする
【日付と時刻】画面が表示されます。
- ③ 【日付と時刻】タブで【日付と時刻の変更】ボタンをタップする
【日付と時刻の設定】画面が表示されます。
- ④ 【日付】で日付の修正を行う
該当する日付をタップしてください。
- ⑤ 【時刻】で時刻の修正を行う
デジタル時計は「時：分：秒」で項目が分かれていますので、変更したい部分をタップし、右端にある上下のボタン（)で時刻を修正してください。
- ⑥ 【OK】ボタンをタップする
- ⑦ 【日付と時刻】画面で【OK】ボタンをタップする

Q しばらく本製品を使用しないでいたら、時計と日付が変更されてしまった

A バッテリーの充電量が不足しています。

電源コードとACアダプターを接続して、バッテリーを充電してください。その後に、日付と時刻を設定してください。

日付と時刻の設定方法は、「本項 - Q 内蔵時計が合っていない」を参照してください。

4 タッチパネル

Q 画面にタッチしても反応しない

A システムが処理中の可能性があります。

ポインターが輪の形 () をしている間は、システムが処理をしている状態のため、操作を受け付けられないときがあります。システムの処理が終わるまで待ってから操作してください。

A 画面に異物が付着している可能性があります。

保護フィルムを貼っている場合は、フィルムをはがしてください。

A つめの先では操作できません。

指で操作してください。

A 手袋を着けたままでは操作できません。

手袋をはずして操作してください。

A 指が汗や水でぬれている状態では操作できません。

水分をふき取ってから操作してください。

Q ダブルタップがうまくいかないのに、速度を変更したい

A 次の手順で、ダブルタップの速度を調節してください。

- ① スタート画面で、画面の中央から上に向かってスライドする
- ② [Windows システムツール] の [ コントロールパネル] をタップする
- ③ [ ハードウェアとサウンド] → [ タッチ入力設定の変更] をタップする
[ペンとタッチ] 画面が表示されます。
- ④ [ダブルタップ] を選択し、[設定] ボタンをタップする
[ダブルタップの設定] 画面が表示されます。
- ⑤ [スピード] のスライダーバーを左右にドラッグする
- ⑥ [OK] ボタンをタップする
- ⑦ [OK] ボタンをタップする

5 メッセージ

起動時に「**** RTC battery is low ****

Q Press any key to set Date/Time」と表示され、
Windowsが起動しない

A▶ バッテリーの充電量が不足しています。

電源コードとACアダプターを接続後、次の手順でBIOSセットアップの日付と時刻を設定してください。

- ① Windowsボタン (■) をタップする、または外付けUSBキーボード (市販品) を接続して何かキーを押す
BIOSセットアップ画面が表示されます。
- ② [System Time] の時刻表示部分をタップして選択後、再度タップする
時刻設定画面が表示されます。
- ③ 時間、分、秒を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[Ok] ボタンをタップする
- ④ [System Date] の日付表示部分をタップして選択後、再度タップする
日付設定画面が表示されます。
- ⑤ 月、日、年を、それぞれ [+] [-] をタップして設定し、[Ok] ボタンをタップする
- ⑥ [Save and Exit] をタップする
確認のメッセージが表示されます。
- ⑦ [Yes] をタップする
設定内容が有効になり、BIOSセットアップが終了します。
本製品が再起動します。

Q 「システムの日付または時刻が無効です」と表示された

A▶ 日付と時刻を設定してください。

Windows Updateやアプリケーションのセットアップを行う場合は、正しい日付と時刻を設定してから行ってください。

参照▶ 日付と時刻の設定について「本節 3 - Q 内蔵時計が合っていない」

Q 次のようなメッセージが表示された

- [Insert system disk in drive.Press any key when ready]
- [Non-System disk or disk error Replace and press any key when ready]
- [Invalid system disk Replace the disk,and then press any key]
- [Boot:Couldn't Find NTLDR Please Insert another disk]
- [Disk I/O error Replace the disk,and then press any key]
- [Cannot load DOS press key to retry]
- [Remove disks or other media.Press any key to restart]
- [NTLDR is missing Press any key to restart]

A 次のとおり操作してください。

- ① CD/DVD や、USB フラッシュメモリなどの起動ディスクを取り出す
- ② Windows ボタン () をタップする、または外付けUSBキーボード (市販品) を接続して何かキーを押す

上記の操作を行っても解決しない場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

Q その他のメッセージが表示された

- ### A 『使用しているシステムやアプリケーションに付属の説明書』を確認してください。

6 その他

Q 本製品を初期状態に戻せなくなったときは

- ### A 内蔵フラッシュメモリに搭載されている初期状態に戻すためのツール (システムを復元するためのもの) のデータが破損、もしくは誤って消去されている可能性があります。

また、市販のソフトウェアを使用してパーティションの構成を変更すると、本製品を初期状態に戻せなくなることがあります。

あらかじめリカバリーメディアを作成してある場合は、作成したリカバリーメディアを使って、リカバリーしてください。

参照▶ リカバリーの操作方法 [2章 **3** - **5**] リカバリーメディアから本製品を初期状態に戻す

リカバリーメディアがない場合は、修理が必要になる可能性があります。東芝PCあんしんサポートに相談してください。

参照▶ 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 異常なおいや過熱に気づいた！

A▶ 本製品、周辺機器の電源を切り、電源コードの電源プラグをコンセントから抜いてください。安全を確認してから東芝PCあんしんサポートに相談してください。

なお、連絡の際には次のことを伝えてください。

- 使用している機器の名称
- 購入年月日
- 現在の状態（できるだけ詳しく連絡してください）

参照▶ 修理のお問い合わせについて『東芝PCサポートのご案内』

Q 操作できない原因がどうしてもわからない

A▶ 『オンラインマニュアル』の「トラブルを解消するまでの流れ」を確認してください。

『オンラインマニュアル』の「トラブルを解消するまでの流れ」では、トラブルを解決するための対処手順を説明しています。ご確認ください。

参照▶ 『オンラインマニュアル 7章 1 トラブルを解消するまでの流れ』

.....

A▶ 本製品のトラブルの場合は、『東芝PCサポートのご案内』で必要事項を確認のうえ、東芝PCあんしんサポートに連絡してください。

.....

A▶ OSやアプリケーションのトラブルの場合は、各アプリケーションのサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ OSやアプリケーションのお問い合わせ先「本章 3 お問い合わせ先」

.....

A▶ 周辺機器のトラブルの場合は、各周辺機器のサポート窓口にお問い合わせください。

参照▶ 周辺機器のお問い合わせ先『周辺機器に付属の説明書』

2 捨てるとき／人に譲るとき

本製品を捨てたり人に譲ったりする前に、お客様登録を削除したり、内蔵フラッシュメモリの内容を消去してください。

1 使用済みの本製品を廃棄する場合

【個人・家庭で本製品をご使用のお客様へ】

本製品はPCリサイクル対象製品には該当しません。

お客様がお住まいの各自治体の処理に従い、適切に廃棄をお願いします。

なお、自治体によっては、廃棄費用をご負担いただく場合があります。

2 お客様登録の削除について

● ホームページから削除する

東芝ID (TID) をお持ちの場合はこちらからお願いします。

① インターネットで「<http://toshibadirect.jp/room1048/>」へ接続する

② ページ右の [ログイン] をタップする

[ログイン] 画面が表示されます。

③ [東芝ID (TID)] と [パスワード] に入力し、[ログイン] ボタンをタップする
マイページが表示されます。

④ ページ右下の [退会] をタップする

※ 退会ではなく、商品の削除のみのお客様は、マイページの「登録済み商品一覧」で商品削除を行ってください。

※ Room1048 を退会されると、「東芝ダイレクト」での購入履歴やRoom1048会員限定サービスなどもご利用いただけなくなりますので、あらかじめご了承ください。

● 電話で削除する

「東芝ID事務局 (お客様情報変更)」までご連絡ください。

● 東芝ID事務局 (お客様情報変更)

TEL : 0570-09-1048 (ナビダイヤル)

受付時間 : 10:00~17:00 (土・日、祝日、東芝特別休日を除く)

紹介しているホームページや電話番号は、お客様登録の内容変更や削除に関するお問い合わせ窓口です。

技術的なご相談や修理に関するお問い合わせは、『東芝PCサポートのご案内』を確認してください。

3 内蔵フラッシュメモリの内容をすべて消去する

本製品の内蔵フラッシュメモリ上のデータは、削除操作をしても実際には残っています。普通の操作では読み取れないようになっていますが、特殊な方法を実行すると削除したデータでも再現できてしまいます。そのようなことができないように、本製品を廃棄または譲渡する場合など、他人に見られたくないデータを読み取れないように、消去することができます。

なお、内蔵フラッシュメモリに保存されている、データやプログラムなどはすべて消失します。パーティションも消失します。これらを復元することはできませんので、注意してください。

操作手順

内蔵フラッシュメモリの内容を削除するには、内蔵フラッシュメモリの消去機能、または作成したリカバリーメディアを使用します。

お願い 本製品を譲渡する場合には

内蔵フラッシュメモリの内容を削除すると、内蔵フラッシュメモリ内のデータと共に初期状態に戻す機能も消去されます。再びシステム（OS）やアプリケーションを使用したい場合は、あらかじめリカバリーメディアを作成しておいてください。

参照 ▶ リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル 1章 1 リカバリーメディアを作る』

■ 内蔵フラッシュメモリの消去機能から行う方法

1 データを保存し、次の方法で電源を切る

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
- ② [設定] をタップする
- ③ [PC設定の変更] をタップする
- ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
- ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

2 電源コードとACアダプターを接続する

3 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

4 [HDD Recovery] をタップする

確認のメッセージが表示されます。

5 「Yes」または「はい」をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

6 [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

7 [TOSHIBA Maintenance Utility] をタップする

消去方法を選択する画面が表示されます。
「目的のオペレーティングシステムを選んでください。」と表示された場合は、
[Windows 8.1] をタップしてください。

8 目的に合わせて、[標準データの消去] または [機密データの消去] を チェックし、[次へ] ボタンをタップする

通常は [標準データの消去] を選択してください。データを読み取れなくなります。
より確実にデータを消去するためには、[機密データの消去] を選択してください。数
時間かかりますが、データは消去されます。
[データの消去を開始します。] 画面が表示されます。
処理を中止する場合は、[キャンセル] ボタンをタップしてください。

9 [次へ] ボタンをタップする

消去が実行されます。
画面は、処理の経過に従い切り替わります。
消去が完了すると、終了画面が表示されます。

10 [終了] ボタンをタップする

■ リカバリーメディアから行う方法

リカバリーメディアは、あらかじめ作成しておく必要があります。

参照 リカバリーメディアの作成『オンラインマニュアル 1章 1 リカバリーメディアを作る』

お願い

- リカバリーメディアからのデータ消去時はmicroUSBコネクタを使用するため、本製品に電源コードとACアダプターを接続できません。
バッテリー駆動で使用中にバッテリーの消耗などによってデータ消去に失敗するおそれがありますので、あらかじめバッテリーの充電を完了（フル充電）してください。

1 電源コードとACアダプターを接続し、バッテリーをフル充電の状態にする

参照 詳細について『オンラインマニュアル 5章 1 - 2 バッテリーを充電する』

2 データを保存し、次の方法で電源を切る

- ① 画面の右端から左に向かってスワイプしてチャームを表示する
- ② [設定] をタップする
- ③ [PC設定の変更] をタップする
- ④ [保守と管理] → [回復] の [今すぐ再起動する] をタップする
- ⑤ オプションの選択画面で [PCの電源を切る] をタップする

3 電源コードとACアダプターを取りはずす**4** 本製品のmicroUSBコネクタに、市販のセルフパワーのUSBハブを接続する

セルフパワーのUSBハブとは、接続しているUSB対応機器にUSBハブのACアダプターから給電ができるタイプのもので、

USBハブのプラグがmicroBタイプではない場合、本製品のmicroUSBコネクタに直接接続することができません。市販のmicroBタイプの変換ケーブルを使用してください。

5 USBハブにリカバリーメディア（USBフラッシュメモリ）を接続する**6** 音量大（+）ボタンを押しながら、電源スイッチを押す

[Boot Menu] 画面が表示されます。

7 USBフラッシュメモリを示す項目（[EFI USB Device] など）をタップする

[キーボードレイアウトの選択] 画面が表示された場合は、手順 **8** に進んでください。

[オプションの選択] 画面が表示された場合は、手順 **9** に進んでください。

8 [Microsoft IME] をタップする

[オプションの選択] 画面が表示されます。

9 [トラブルシューティング] をタップする

[トラブルシューティング] 画面が表示されます。

以降は、「本節 **3** - 内蔵フラッシュメモリの消去機能から行う方法」の手順 **7** 以降を参照してください。

3

お問い合わせ先

— OS / アプリケーション —

本製品に用意されているOS、アプリケーションのお問い合わせ先を紹介しています。
各アプリケーションを使っていて困ったときは、こちらに連絡してください。

* 2013年11月現在の内容です。

各社の事情で、受付時間などに変更になる場合があります。

3章

1 OSのお問い合わせ先

Windows 8.1に関する一般的なお問い合わせ先は、東芝PCあんしんサポートになります。

Windows 8.1に関する一般的なサポート情報は、以下のホームページでもご確認いただくことができます。

<http://support.microsoft.com>

困ったときは

2 アプリケーションのお問い合わせ先

各アプリケーションのユーザー登録については、それぞれのお問い合わせ先までお問い合わせください。

用意されているアプリケーションはご購入のモデルにより異なります。

Excel 2013/OneNote 2013/Outlook 2013/PowerPoint 2013/Word 2013

日本マイクロソフト株式会社 サポート受付窓口

●基本操作に関するお問い合わせ

<メール サポート>

以下の Web サイトにアクセスし、ご質問または問題に関連する製品を選択してください。

ホームページ : <http://support.microsoft.com/oas/>

受付時間 : 24 時間いつでも受け付けています。

<電話サポート>

フリーダイヤル : 0120-54-2244

※ 下記番号へのお問い合わせの場合は通信費はお客様負担
東京 03-4332-5458 大阪 06-6530-4231

※ ご利用の際は、電話番号をお間違えないようご注意ください。

※ 音声ガイダンスが流れますので、ガイダンスに従って番号のご選択をお願いいたします。

受付時間 : 月曜日～金曜日 : 9:30 ~ 12:00、13:00 ~ 19:00
土曜日 : 10:00 ~ 17:00

(祝日、日本マイクロソフト株式会社指定休業日を除きます。日本マイクロソフト株式会社指定休業日以外で日曜日が祝日である場合には、日曜日は上記土曜日と同様の受付を行い、翌日の振替休日が休業となります。)

● サポート有効期間 : お客様が初めてお問い合わせいただいた日から起算して90日間 (※)
※ サポート ライフサイクル期間内

● ホームページ : <http://support.microsoft.com/select/>

お問い合わせに関する詳細は、本体に同梱されている冊子『Office お使いになる前に』をご覧ください。

ウイルスバスター クラウド™ 90日版

ウイルスバスターサービスセンター

受付時間 : 9:30~17:30

TEL : 0570-008326

03-6738-6062 (IP 電話・光電話からのお問い合わせ)

E-mail : <http://tmqa.jp/r924/>

ホームページ : <http://tmqa.jp/toshiba/>

その他のアプリケーション

※本製品を購入後に追加したアプリケーションに関しては、製造元各社へお問い合わせください。

東芝（東芝PCあんしんサポート）

全国共通電話番号：0120-97-1048（通話料・電話サポート料無料）

おかけいただくと、ガイダンスが流れます。ガイダンスに従って操作してください。

技術的な質問、お問い合わせは、ガイダンスの後に **1** を押し続けてください。

技術相談窓口 受付時間：9:00～19:00（年中無休）

[電話番号はお間違えのないよう、ご確認のうえおかけください]

海外からの電話、携帯電話、PHS、一部のIP電話および直回収線など回線契約によってはつながらない場合がございます。その場合はTEL 043-298-8780（通話料お客様負担）にお問い合わせください。

システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合がございます。日程は、サポートサイト（http://dynabook.com/assistpc/index_j.htm）にてお知らせいたします。

お客様の個人情報の取り扱い全般に関する当社の考えかたをご覧になりたいかたは、（株）東芝の個人情報保護方針のページ（http://www.toshiba.co.jp/privacy/index_j.htm）をご覧ください。

付録

本製品の機能を使用するにあたってのお願いや技術基準適合などについて記しています。

1	ご使用にあたってのお願い	78
2	技術基準適合について	80
3	無線LAN/Bluetoothについて	81
4	外形寸法図	84

1

ご使用にあたってのお願い

本書で説明している機能をご使用にあたって、知っておいていただきたいことや守っていただきたいことがあります。次のお願い事項を、本書の各機能の説明とあわせて必ずお読みください。搭載されている機能やアプリケーションは、ご購入のモデルにより異なります。

1 本体について

スイッチ／ボタンの操作にあたって

- スイッチ／ボタンを強く押さえたり、ボールペンなどの先の鋭いものを使ったりしないでください。スイッチ／ボタンが故障するおそれがあります。

機器への強い衝撃や外圧について

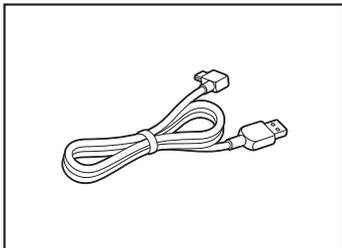
- 機器に強い衝撃や外圧を与えないように注意してください。製品には精密部品を使用しておりますので、強い衝撃や外圧を加えると部品が故障するおそれがあります。
- 本製品の表面を硬いものでこすると傷がつくことがあります。取り扱いにはご注意ください。

画面のタッチ操作にあたって

- 画面をタッチするときは、強く押さないでください。
- 画面は指で操作してください。先のとがったものや硬いもの（つめ、鉛筆、ボールペンなど）で画面をタッチしたり押さえつけたりしないでください。画面を傷つけるおそれがあります。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。保護フィルムを貼ると、タッチ操作が正しく行われずおそれがあります。

2 電源コードの取り扱いについて

- 電源コードは束ねずに、ほどこいた状態で使用してください。ご使用時は、あらかじめ『安心してお使いいただくために』に記載されている記述をよく読み、必ず指示を守ってください。
- 電源コードを持ち運ぶときには、次の図のように正しくケーブルを束ねてください。電源コードは、購入されたモデルにより異なります。



3 バックアップについて

バックアップをとるにあたって

- ユーザー名がリカバリー後と異なる場合、バックアップしたデータが復元できない場合があります。リカバリーをする前にユーザー名を控えてください。

参照▶ リカバリーについて「2章 3 本製品を初期状態に戻す」

- 内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存しているデータは、万が一故障が起きた場合や、変化／消失した場合に備えて定期的にバックアップをとって保存してください。内蔵フラッシュメモリや記録メディアに保存した内容の損害については、当社はいっさいその責任を負いません。

4 GPSについて

- GPS機能搭載モデルでは、GPSが使用できます。
- GPSや測定場所の状態により、現在地が表示できない可能性があります。現在地の情報は、端末側から位置情報を得ており、その情報の精度によって現在地が検出できない可能性があります。具体的には、以下のような場所や状態では、現在地がずれたり、検出できない可能性があります。
 - ・ 建物の中や直下
 - ・ かばんや箱の中
 - ・ 密集した樹木の中
 - ・ アンテナ前面部に障害物（人や物）がある場合
 - ・ 地価やトンネル、地中、水中
 - ・ ビル街や住宅密集地
 - ・ 高圧線の近く
 - ・ 大雨、雪などの悪天

『オンラインマニュアル』にも技術基準適合に関する説明が記載されています。本書だけでなく、『オンラインマニュアル』の記載もあわせてご確認ください。

■ 瞬時電圧低下について

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策のガイドラインを満足しております。しかし、ガイドラインの基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合を生じることがあります。

■ 電波障害自主規制について

参照▶『オンラインマニュアル 付録 4 技術基準適合について』

■ 「FCC information」について

参照▶『オンラインマニュアル 付録 4 技術基準適合について』

■ EU Declaration of Conformityについて

参照▶『オンラインマニュアル 付録 4 技術基準適合について』

* 5GHzの無線LANについては、IEEE802.11a、IEEE802.11ac(draft)のいずれかをサポートしているモデルのみ対象となります。

* Bluetooth機能については、Bluetooth機能搭載モデルのみ対象となります。

本製品の無線LAN/Bluetoothの仕様などについては、『オンラインマニュアル 付録 5 無線LAN/Bluetoothについて』もあわせてご覧ください。

1 使用上のご注意

日本では、本製品を第二世代小電力データ通信システムに位置付けており、その使用周波数帯は2,400MHz~2,483.5MHzです。この周波数帯は、移動体識別装置（移動体識別用構内無線局および移動体識別用特定小電力無線局）の使用周波数帯2,427MHz~2,470.75MHzと重複しています。

この周波数では電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用されている免許を要する移動体識別用の構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかにこの機器の使用チャンネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. その他、電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、東芝PCあんしんサポートへお問い合わせください。

参照▶ 東芝PCあんしんサポートについて『東芝PCサポートのご案内』

2 お知らせ

無線製品の相互運用性

■無線LAN

本製品に搭載されている無線LANは、Direct Sequence Spread Spectrum (DSSS) / Orthogonal Frequency Division Multiplexing (OFDM) 無線技術を使用する無線LAN製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Institute of Electrical and Electronics Engineers (米国電気電子技術者協会) 策定の IEEE802.11 Standard on Wireless LANs (Revision a/b/g/n/ac(draft)) (無線LAN標準規格 (版数 a/b/g/n/ac(draft)))

■Bluetooth

本製品に搭載されているBluetoothは、Frequency Hopping Spread Spectrum (FHSS) 無線技術を使用するBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた製品と相互運用できるように設計されており、次の規格に準拠しています。

- Bluetooth Special Interest Group 策定の Bluetooth Specification Ver.4.0
- Bluetooth Special Interest Group の定義する Bluetooth ワイヤレステクノロジーの Logo 認証



メモ

- 本製品はすべてのBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器との接続動作を確認したものではありません。ご使用にあたっては、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器対応の動作条件と接続の可否情報を取扱元にご確認ください。

また下記の取り扱い上の注意点があります。

- (1) Bluetooth Version 1.0B 仕様のBluetooth ワイヤレステクノロジーを用いた機器とは互換性がありません。
- (2) 2.4GHz帯の無線LANが近距離で使用されていると通信速度の低下または通信エラーが発生する可能性があります。
- (3) Bluetoothと無線LANは同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth、無線LANのいずれかの使用を中止してください。

健康への影響

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothは、ほかの無線製品と同様、無線周波の電磁エネルギーを放出します。しかしその放出エネルギーは、携帯電話などの無線機器と比べるとはるかに低いレベルにおさえられています。

本製品に搭載されている無線LANおよびBluetoothの動作は無線周波に関する安全基準と勧告に記載のガイドラインにそっており、安全にお使いいただけるものと東芝では確信しております。この安全基準および勧告には、学会の共通見解と、多岐にわたる研究報告書を継続的に審査、検討している専門家の委員会による審議結果がまとめられています。

ただし周囲の状況や環境によっては、建物の所有者または組織の責任者が無線LANおよびBluetoothの使用を制限する場合があります。次にその例を示します。

- 飛行機の中で無線LANおよびBluetoothを用いた装置を使用する場合
- ほかの装置類またはサービスへの電波干渉が認められるか、有害であると判断される場合

個々の組織または環境（空港など）において無線機器の使用に関する方針がよくわからない場合は、無線通信機能をONにする前に、個々の組織または施設環境の管理者に対して、本製品の使用可否について確認してください。

規制に関する情報

本製品に搭載されている無線LANのインストールと使用に際しては、必ず製品付属の説明書に記載されている製造元の指示に従ってください。本製品は、無線周波基準と安全基準に準拠しています。

3 使用できる国/地域について

海外で無線通信機能を使用する場合は、使用される国/地域の無線規格を取得している必要があります。

無線規格を取得している国/地域に関する情報は、「dynabook.com」をご覧ください。

参照▶ 「dynabook.com」について『東芝PCサポートのご案内』

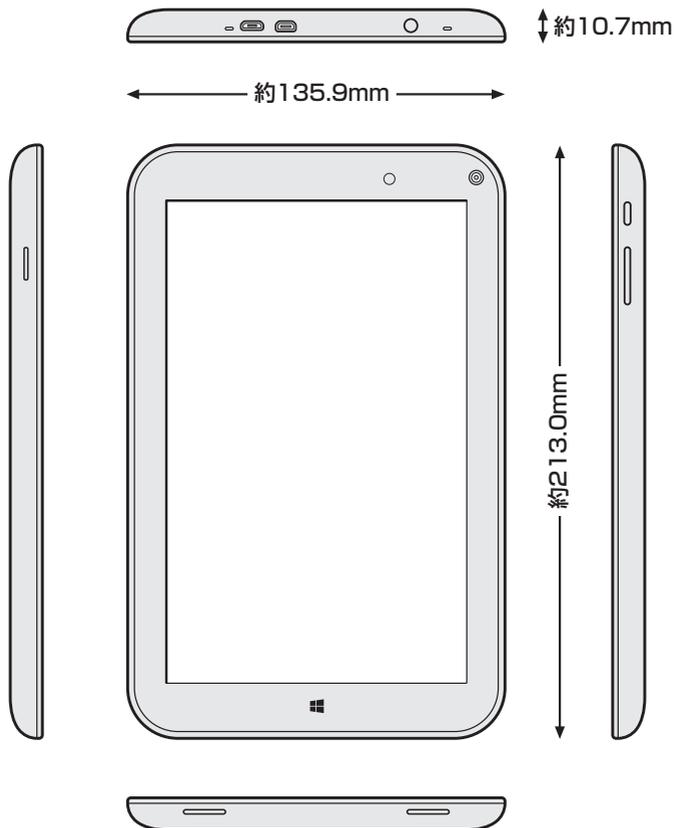
また、無線規格を取得していない国/地域では、本製品の無線通信機能をOFFにしてください。

参照▶ 無線通信機能のOFFについて「1章 **6** - **1** 電源を切る」の警告

4

外形寸法図

* 数値は突起部を含みません。



リフレッシュ／リカバリーチェックシート

本製品のリフレッシュ／リカバリーを行う際は、次の説明をお読みになり、消去されるデータやアプリケーションをご確認のうえ、順番に作業を行ってください。

参照▶ 各項目の詳細「2章 本製品を再セットアップするには」

1 リフレッシュ／リカバリーする前に、次の方法を実行してみる

リフレッシュ	リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	ウイルスチェックソフトで、ウイルス感染のチェックを実行する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	周辺機器（マウス、プリンターなど）をすべて取りはずす
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「3章 困ったときは」『オンラインマニュアル』をご覧ください、ほかのトラブル解消方法を探す
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	「システムの復元」を実行して、本製品を以前の状態に復元する

2 リフレッシュ／リカバリーする前にすること

リフレッシュ	リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	① 準備するもの 『取扱説明書』（本書） リフレッシュ／リカバリーチェックシート（本シート）
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	リカバリーメディア（メディアからリカバリーする場合のみ）
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	② 必要なデータのバックアップをとる ● [ドキュメント]、[ピクチャー]、デスクトップ上などのデータ ● 「Internet Explorer」の「お気に入り」のデータ ● メール送受信データ、メールアドレス ● その他、本製品を購入後に作成したデータ（フォルダーやファイル）
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	③ アプリケーションのセットアップ用のメディアを用意する ● 本製品を購入後にインストールしたアプリケーションのメディア ● Officeのパッケージ（プロダクトキーの情報）
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	④ 各種設定を確認する ウイルスチェックソフトの設定など
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	インターネット、Windowsサインイン時のアカウント名などの設定
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ 無線通信機能がONであることを確認する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ 周辺機器（マウス、プリンターなど）をすべて取りはずす

3 リフレッシュ／リカバリーの実行と、その後にする事

リフレッシュ	リカバリー	説明
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	① リフレッシュ／リカバリーを行う（*リカバリー後は初期セットアップが必要）
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	② 周辺機器（マウス、プリンターなど）を取り付けて、設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	③ ウイルスチェックソフトの利用を開始する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	④ インターネットを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑤ ウイルスチェックソフトのパターンファイルを更新する、Windows Updateを行う
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑥ メールを設定する
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑦ アプリケーションのインストールや設定を行う
<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	⑧ バックアップをとったデータを復元する